

# 石川県こころの健康センター所報

第 42 号

(令和元年度実績)

石川県こころの健康センター

- 2020 -

# 目 次

## I こころの健康センター概要

1 沿 革	1
2 施設の概況	3
3 組織・機構	4
4 業 務	6

## II 令和元年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務	
(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付	8
(2) 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定	9
(3) 精神医療審査会	11
2 相談課業務	
(1) 技術指導及び技術援助	13
(2) 教育研修	15
(3) 普及啓発	18
(4) 精神保健福祉相談	21
(5) 組織育成	30
(6) ひきこもり社会参加復帰支援事業	33
(7) 依存症関連問題指導事業	37
(8) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業	40
(9) 自殺予防対策推進事業	41
(10) 子どもの心のケア推進事業	47
(11) 精神障害者地域生活支援事業	54
3 支援課（発達障害支援センター）業務	
(1) 発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援	55
(2) 精神科医による相談事業	58
(3) 青年期グループ活動	59
(4) 就労者グループ活動	59
(5) 親のつどい	59
(6) 関係機関等との調整会議	59
(7) 機関コンサルテーション	60

(8) 個別支援のための調整会議 .....	61
(9) 普及啓発及び研修 .....	62

### Ⅲ 資 料

1 精神保健福祉相談状況（電話・来所・訪問） .....	68
2 普及啓発活動 .....	72
3 関係機関・団体との連携 .....	74
4 集団活動 .....	77
5 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧 .....	78

# I こころの健康センター概要

## 1 沿 革

- 昭和 41 年 10 月 石川県社会福祉会館内に石川県精神衛生センターが開設される。
- 昭和 56 年 11 月 金沢市南新保町ル 3-1（現在地）に新築移転する。
- 12 月 デイ・ケア事業（～平成 25 年度）、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。
- 昭和 57 年 4 月 特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。
- 昭和 58 年 4 月 親子通所センターが石川県中央児童相談所より移管される。  
同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。
- 昭和 61 年 4 月 心の健康づくり推進事業を開始する。
- 昭和 63 年 4 月 石川県精神保健センターと名称を変更する。  
痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度）  
メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度）
- 平成 元 年 4 月 社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）
- 平成 3 年 4 月 こころの相談ダイヤル事業を開始する。
- 平成 6 年 4 月 こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）
- 平成 7 年 7 月 石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。
- 平成 8 年 10 月 ピア・カウンセリング推進事業を開始する。（～平成 18 年度）
- 平成 13 年 4 月 石川県こころの健康センターと名称を変更する。  
ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）を開始する。  
ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業を開始する。
- 平成 14 年 4 月 精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。

- 平成 14 年 10 月 住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。
- 平成 17 年 4 月 発達障害支援センターが設置される。
- 平成 18 年 4 月 親子通所センターが閉所される。(訓練課を廃止し、支援課を新設)
- 平成 20 年 9 月 石川県精神科救急情報センター「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。
- 平成 20 年 9 月 いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業を開始する。
- 平成 21 年 5 月 ひきこもり地域支援センターが設置される。
- 平成 21 年 9 月 こころの緊急支援事業 (C R T) を開始する。(～平成 26 年度)
- 平成 22 年 6 月 依存症教室を開始する。
- 平成 23 年 3 月 「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始する。
- 平成 27 年 6 月 依存症家族交流会を開始する。
- 平成 27 年 7 月 依存症再発予防プログラムを開始する。

## 2 施設の概況

### (1) 土地

所在地 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地 (〒920-8201) TEL 076(238)5761

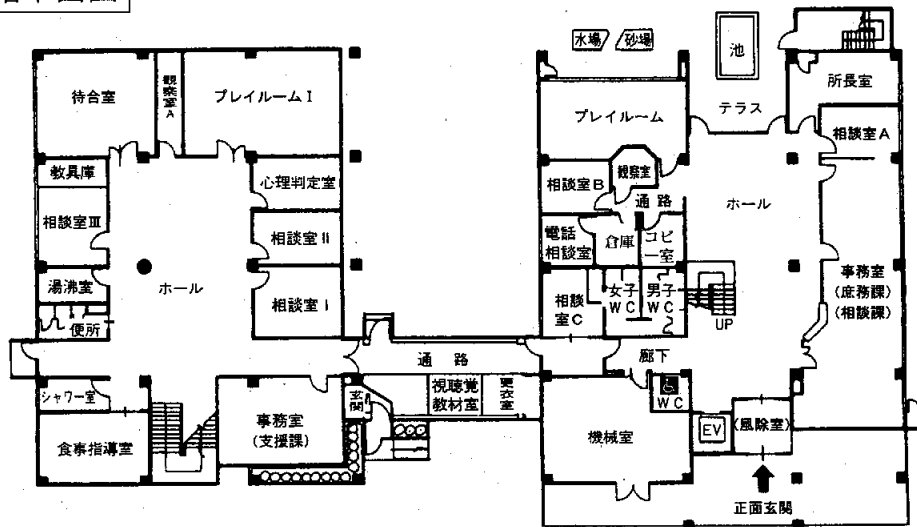
敷地 3,400.14㎡

### (2) 建地

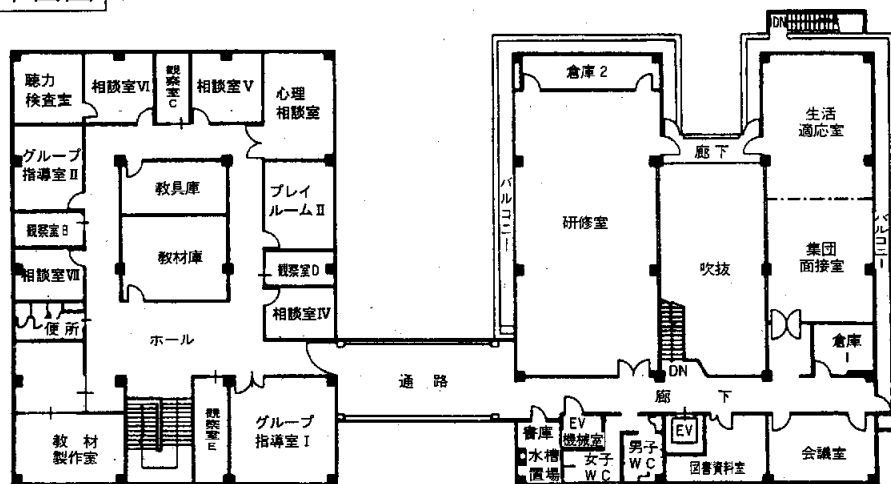
鉄筋コンクリート2階寄棟造 延1,761.26㎡

《館内平面図》

#### 1階平面図



#### 2階平面図

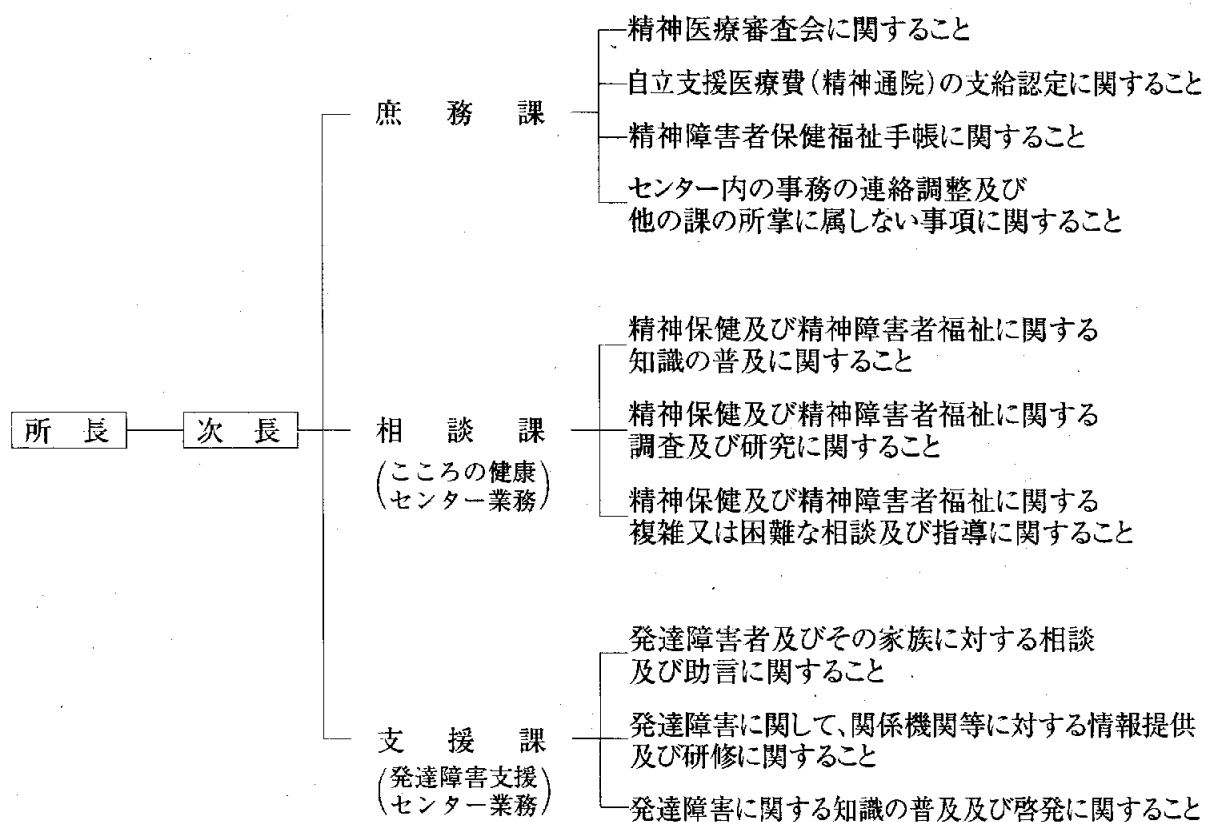


(発達障害支援センター)

(こころの健康センター)

### 3 組織・機構

#### (1) 機構



## (2) 職種別職員数

(令和2年11月1日現在)

職種		医師	保健師	助産師	看護師	精神保健福祉士	福祉指導員	心理判定員	電話相談員	事務職員	事務補助員	計
職員	常勤		2			2	2	6		4		16
	兼務	1										1
	再任用 (31h)			1	1							2
会計年度 任用職員	常勤		1	1				1		1	1	5
	非常勤 (29h)										1	1
	非常勤 (29h未満)	3						1	13			17
計		4	3	2	1	2	2	8	13	5	2	42

## (3) 課別職員数

(令和2年11月1日現在)

課名	職種	職員			会計年度任用職員			計
		常勤	兼務	再任用 (31h)	常勤	非常勤 (29h)	非常勤 (29h未満)	
所長	医師		1					1
次長兼庶務課長	事務職員	1						1
庶務課	助産師			1	1			8
	事務職員	3			1			
	事務補助員				1	1		
相談課	医師						2	24
	保健師	1			1			
	精神保健福祉士	2						
	福祉指導員	1						
	心理判定員	3					1	
	電話相談員						13	
支援課	医師						1	8
	保育士							
	保健師	1						
	看護師			1				
	福祉指導員	1						
	心理判定員	3				1		
計		16	1	2	5	1	17	42



## 4 業 務

### I 庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) 精神医療審査会に関する事務
- (2) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務

### II 相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」（平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知）により、次の業務を行っている。

#### (1) 企画立案

地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をしている。

#### (2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町及び関係諸機関に対し、専門的立場から、技術指導及び技術援助を実施している。

#### (3) 教育研修

保健所、市町及び福祉事務所、社会復帰施設その他の関係諸機関で精神保健福祉業務に従事する職員の技術的水準の向上を図るための専門的研修を実施している。

#### (4) 普及啓発

県民の心の健康づくり対策として、精神保健福祉の知識、精神障害についての正しい知識の普及を行うため、講演会の開催やパンフレット及びパネルの作成をするとともに、ビデオやDVDの貸出をしている。また、保健所、市町及び関係諸機関で開催する講演会や研修会に講師を派遣している。

#### (5) 精神保健福祉相談

幼児から老人まで、また自分自身のことから家族等に至るまで、広く心の問題に関する面接及び電話相談に応じている。また、精神保健福祉相談の円滑な推進を図るための会議を開催するなど関係諸機関との連携を図っている。

#### (6) 組織育成

地域精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による家族会等の関係団体の育成に努め、活動を支援している。

#### (7) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料の収集整備に努めている。

(8) ひきこもり社会参加復帰支援事業

ひきこもり対策を推進するための体制を整備し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図っている。

(9) 特定相談指導事業

アルコールや薬物などの特定相談に応じるとともに、それら関連問題の発生を予防するために、正しい知識の普及のための講演会や、当事者家族のための依存症教室や依存症再発予防プログラムを開催している。

(10) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

ドメスティック・バイオレンスに悩む男性のための相談窓口を開設している。

(11) 自殺予防対策推進事業

平成 19 年度に策定された「石川県自殺対策行動計画」に基づき、関係諸機関と連携し、誰もが相談しやすい窓口の設置や自殺予防講演会などの普及啓発、支援者の資質向上のための研修会の開催、未遂者支援体制整備や自死遺族のケアを行っている。

(12) 子どもの心のケア推進事業

子どもの心の問題について、地域で安心して相談できる体制づくりを目指した相談対応や事例検討会、関係者育成セミナーなどを平成 20 年度から実施している。

### Ⅲ 支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害者支援センター業務を担い「発達障害者支援センター運営事業の実施について」（平成 17 年 7 月 8 日障発第 0708004 号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）により、次の業務を行っている。

- (1) 発達障害児(者)及びその家族等に対する相談支援
- (2) 発達障害児(者)及びその家族等に対する発達支援
- (3) 発達障害児(者)及びその家族等に対する就労支援
- (4) 関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修

(関係施設及び関係機関等との連携)

## Ⅱ 令和2年度こころの健康センターの活動概要

### 1 庶務課業務

#### (1) 精神障害者保健福祉手帳の交付

##### ア 制度の概要

一定の精神障害者の状態にあることを証する手段となり、手帳の交付を受けた者に対し、各方面からの協力により各種の支援策が高じられることを促進し、もって精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成7年に創設された。

##### イ 対象者

精神疾患（知的障害を除く）を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある者。

##### ウ 障害等級

- 1級 日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- 2級 日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
- 3級 日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

##### エ 交付手続き

申請書に写真（上半身）と（ア）又は（イ）の書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

##### （ア） 医師の診断書

精神障害に係る初診日から6か月を経過した日以後に作成されたもの

##### （イ） 年金証書等

精神障害を支給事由とする障害者年金または特別障害給付金を現に受給していることを証する書類の写し

##### オ 審査及び判定

診断書添付による申請の場合、手帳の交付の可否及び障害等級の判定については、精神保健指定医を委員とする石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で行われる。委員は7名（会議はメンバー持ち回りの4名出席で開催）で、令和元年度は22回開催した。

##### カ 手帳の有効期間

2年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

## キ 手帳に基づく各種支援策

税制上の優遇措置や生活保護の障害者加算、公共交通機関の運賃割引、公共施設の利用料割引などの支援が受けられる。

表1 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：件)

区分		計	計		新規		更新		
			診断書	年金	診断書	年金	診断書	年金	
平成 27年度	申請	3,835	1,976	1,859	754	362	1,222	1,497	
	交付	1級	288	159	129	52	25	107	104
		2級	2,978	1,531	1,447	578	275	953	1,172
		3級	505	274	231	118	46	156	185
		計	3,771	1,964	1,807	748	346	1,216	1,461
平成 28年度	申請	3,979	1,984	1,995	769	402	1,215	1,593	
	交付	1級	262	130	132	37	25	93	107
		2級	3,148	1,544	1,604	601	325	943	1,279
		3級	522	301	221	126	43	175	178
		計	3,932	1,975	1,957	764	393	1,211	1,564
平成 29年度	申請	4,364	2,355	2,009	857	405	1,498	1,604	
	交付	1級	285	141	144	35	36	106	108
		2級	3,514	1,884	1,630	695	323	1,189	1,307
		3級	532	313	219	120	40	193	179
		計	4,331	2,338	1,993	850	399	1,488	1,594
平成 30年度	申請	4,556	2,299	2,257	865	437	1,434	1,820	
	交付	1級	266	121	145	37	30	84	115
		2級	3,773	1,880	1,893	701	361	1,179	1,532
		3級	495	290	205	120	41	170	164
		計	4,534	2,291	2,243	858	432	1,433	1,811
令和 元年度	申請	4,787	2,524	2,263	866	418	1,658	1,845	
	交付	1級	269	130	139	31	31	99	108
		2級	3,974	2,055	1,919	693	352	1,362	1,567
		3級	513	332	181	137	29	195	152
		計	4,756	2,517	2,239	861	412	1,656	1,827

## (2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定

### ア 制度の概要

障害者等が、その心身の障害の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療を受けるに際して、その医療費の一部を公費で負担する制度である。即ち、医療費に対して各医療保険制度が適用された後、患者の自己負担額を医療費の1割とし(ただし、世帯の所得に応じて負担上限月額の設定あり)、残りを公費負担とする。

## イ 対象者

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に定める精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に必要とする程度の病状にある者。また、症状が殆ど消失している者であっても、障害の程度が軽減している状態を維持し、又は障害の再発を予防するために入院によらない治療を続ける必要がある場合も対象となる。

## ウ 申請手続き

申請書に(ア)又は(イ)の場合における書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

### (ア) 支給認定の申請のみを行う場合

自立支援医療（精神通院医療）の診断書、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料  
※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

### (イ) 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

精神障害者保健福祉手帳用の診断書及び治療の投薬内容がわかる手帳用診断書投薬内容届、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料  
※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

## エ 支給認定

精神通院医療の要否については、石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で判定が行われ、県知事はその結果を受けて支給認定を行うかどうかを決定する。

## オ 支給認定の有効期間

1年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

## カ 受給者証の交付

支給認定が行われた申請者に対し、指定医療機関や自己負担上限月額、有効期間等を記載した自立支援医療受給者証（精神通院）を交付する。

表2 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定状況 (単位：件)

年 度	計	保 険 者 別 内 訳				
		被用者 保険本人	被用者 保険家族	国民健康 保険	生活 保護者	その他
平成27	15,235	2,847	3,191	7,049	1,960	188
平成28	16,077	3,192	3,306	7,249	2,106	224
平成29	15,988	3,233	3,276	7,185	2,059	235
平成30	16,859	3,635	3,449	7,291	2,215	269
令和元	18,135	4,068	3,704	7,868	1,781	714

表3 手帳所持者数及び支給認定者数の各年度末推移

年 度	手 帳 所 持 者 数				支給認定者数
	1 級	2 級	3 級	計	
平成22	697	3,541	502	4,740	11,685
平成23	687	3,973	572	5,232	12,275
平成24	622	4,256	620	5,498	12,885
平成25	578	4,683	721	5,982	13,532
平成26	532	5,070	814	6,416	14,074
平成27	538	5,475	911	6,924	14,577
平成28	518	5,964	999	7,481	15,154
平成29	527	6,526	1,031	8,084	15,656
平成30	542	7,120	1,024	8,686	16,220
令和元	585	8,081	1,104	9,770	18,053

表4 市町別手帳所持者数及び支給認定者数（令和2年3月31日現在）

区 分		加賀市	小松市	能美市	川北町	白山市	野々市市	金沢市	かほく市	津幡町	内灘町
手帳	1級	30	42	33	2	32	18	304	12	13	7
	2級	373	587	288	29	783	336	3,825	257	202	189
	3級	81	126	48	6	133	56	399	32	34	24
	計	484	755	369	37	948	410	4,528	301	249	220
通 院		1,013	1,493	666	56	1,525	779	8,078	531	478	365
区 分		羽咋市	志賀町	宝達志水町	七尾市	中能登町	輪島市	穴水町	能登町	珠洲市	合計
手帳	1級	10	2	10	33	8	8	2	12	7	585
	2級	132	104	65	421	115	158	42	115	60	8,081
	3級	18	14	15	53	23	17	2	14	9	1,104
	計	160	120	90	507	146	183	46	141	76	9,770
通 院		333	249	175	1,028	323	390	128	252	191	18,053

(3) 精神医療審査会

ア 設置の根拠法令

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第12条

## イ 審査会の業務

病院からの次の病状報告や精神障害者の退院請求等に対して入院継続の要否又は処遇の適否を審査する。

(ア) 措置入院者の定期病状報告、医療保護入院者の定期病状報告、医療保護入院者退院支援審議記録、医療保護入院者の入院届、入院診療計画書

(イ) 入院中の者又はその家族等からの退院請求又は処遇改善の請求

## ウ 委員構成

委員 10人（医療委員6人、法律家委員2人、有識者委員2人）

予備委員6名（医療予備委員2名 法律家予備委員2名 有識者予備委員2名）

## エ 合議体

審査会には5人で構成する合議体を2つ設置し、審査は月1回交互に行う。

## オ 令和元年度の開催実績

審査会12回、全体会議1回

表5 精神医療審査会の審査状況

年 度	退院等の請求			措置入院者の定期病状報告		医療保護入院者の定期病状報告		医療保護入院者の入院届		審査件数合計	
	審査件数	面接件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等
平成22	27	23	—	23	—	1,234	—	2,348	—	3,632	—
平成23	50	33	—	31	—	1,316	—	2,343	—	3,740	—
平成24	37	33	—	31	—	1,314	—	2,487	—	3,869	—
平成25	34	25	—	30	—	1,287	—	2,577	—	3,928	—
平成26	29	29	—	25	—	1,294	—	2,683	—	4,031	—
平成27	39	37	—	27	—	1,235	—	2,833	—	4,134	—
平成28	25	23	—	26	—	1,260	—	2,869	—	4,180	—
平成29	32	30	2	28	—	1,214	—	2,877	—	4,151	2
平成30	27	23	4	34	—	1,164	—	2,873	—	4,098	4
令和元	21	20	3	17	—	1,174	—	3,027	—	4,239	3

注)入院形態の変更等の欄は、審査会において退院が適当又は他の入院形態が適当との意見が示された件数

## 2 相談課業務

### (1) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係機関に対し職員等を派遣するなど専門的な立場から技術援助を行っている。

令和元年度の技術援助回数は985回で、支援内容としては、関係機関との連絡調整が458回(46.5%)と一番多かった(表1)。

保健所(県保健福祉センター及び金沢市福祉健康センター、以下「保健所」とする。)には116回(11.8%)で、保健所以外の行政・教育・福祉等の関係機関には869回(88.2%)であった(表2、表3)。

表1 技術援助回数

区分	計	事例 検 討 会	相 談 訪 問 指 導	知 識 普 及 ・ 保 健 活 動	会 議 へ の 参 画	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 援 助	学 生 教 育 ・ 実 習	情 報 提 供 ・ そ の 他
合 計	985	10	85	62	80	458	6	12	272

### ア 保健所

令和元年度における保健所からの要請による技術援助は116回で、関係機関との連絡調整が37回と一番多く、次いで情報提供・その他が36回であった(表2)。

表2 保健所への技術援助及び技術指導回数

区分	計	事例 検 討 会	相 談 訪 問 指 導	知 識 普 及 ・ 保 健 活 動	会 議 へ の 参 画	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 援 助	学 生 教 育 ・ 実 習	情 報 提 供 ・ そ の 他
南加賀保健福祉センター	13	3	2	0	0	3	0	0	54
石川中央保健福祉センター	52	0	19	0	4	19	1	0	93
能登中部保健福祉センター	16	0	3	0	3	5	1	0	41
能登北部保健福祉センター	12	0	0	0	3	6	0	0	30
金沢市福祉健康センター	23	0	2	0	2	4	0	0	150
合 計	116	3	26	0	12	37	2	0	368



## イ 関係機関（保健所を除く）

令和元年度の保健所以外の行政や教育、医療機関等の関係機関への技術援助は 869 回で、関係機関との連絡調整が 421 回、次いで情報提供・その他が 236 回であった（表 3）。

関係機関の区分別では、国・県が 339 回と一番多く、次いで医療への技術援助が 129 回、市町 126 回の順になっている（表 3）。

表 3 関係機関（保健所を除く）への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事 例 検討会	相 談 訪 問 指 導	知 識 普 及 ・ 保 健 活 動	会 議 へ の 参 画	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 支 援	学 生 教 育 ・ 実 習	情 報 提 供 ・ そ の 他
国 ・ 県	339	0	7	14	26	187	1	0	104
市 町	126	2	10	15	1	64	0	0	34
医 療	129	0	17	5	2	68	0	0	37
福 祉	29	1	4	0	0	13	0	0	11
教 育	74	4	3	14	0	35	0	11	7
労 働	22	0	15	0	1	4	0	0	2
各種精神保健団体	32	0	1	7	1	17	0	0	6
障害者支援施設等	29	0	0	2	0	13	3	1	10
司 法	56	0	1	3	37	9	0	0	6
そ の 他	33	0	1	2	0	11	0	0	19
合 計	869	7	59	62	68	421	4	12	236

## (2) 教育研修

令和元年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を20回開催した。

### ア 精神保健福祉医療担当者研修会

地域における精神保健福祉医療業務が円滑に推進されるように、保健福祉医療関係機関の職員で精神保健福祉の担当として初任者（2年未満）を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に研修を実施した。

日時	プログラム内容及び講師	参加数
令和元年 6月7日 (金)	I 「精神障害者に関する基礎知識～理解と援助～」 石川県こころの健康センター 所長 角田 雅彦	60人
	II 「精神保健福祉行政」 石川県障害保健福祉課 医療支援グループリーダー 北野 浩子	
	III 「高次脳機能障害相談」 石川県リハビリテーションセンター 支援課担当課長 高木多恵子	
	IV 「精神保健福祉センターにおける支援（1）」 石川県こころの健康センター 相談課	
	① センター業務全般 主幹 深谷 敏	
	② 子どものこころ診療ネットワーク 担当課長 飯田 芳枝	
V 「発達障害支援センターの活動概要」 石川県こころの健康センター 支援課長 酒井 伸吾		
VI グループワーク「日常業務及び相談支援業務で困ったこと」		
令和元年 6月20日 (木)	I 「精神保健福祉センターにおける支援（2）」 石川県こころの健康センター 相談課	70人
	① 自殺対策と支援 主任主事 長谷川陽香	
	② ひきこもり対策と支援 主事 竹 昌江	
	③ 依存症対策と支援 主幹 潟邊 裕江	
	II 「インテーク面接～相談における留意点」 石川県こころの健康センター 相談課 主幹 潟邊 裕江	
III 「精神保健福祉センターにおける支援（3）」 ・精神保健医療福祉等の社会資源 石川県こころの健康センター 相談課 主任主事 北瀬英里		
IV 「県保健福祉センターにおける精神保健福祉」 石川中央保健福祉センター健康推進課 主任技師 河畑 沙織		
V 「市町における精神保健福祉」 白山市健康福祉部障害福祉課 精神保健福祉士 寺本 庸介		

	VI 「相談支援事業所の取り組み」 医療法人社団岡部診療所 相談支援事業所 あるふあ 相談支援専門員 生田 克美	
--	--	--

## イ 石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）研修会

石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）として活動する精神科医療機関の従事者を対象に、平時から、必要な知識や活動手法やケア技術、情報伝達等の訓練により、それらを習得し、災害発生に備えた精神医療の活動体制を構築することを目的に研修会を実施した。

開催日時：令和元年12月22日（日）9:00～17:30

参加者数：43人

プログラム内容	講師及び担当者
I 講義 災害医療概論とDPATの活動理念	DPAT事務局 鈴木 健一 氏
II 講義 県内の各種体制について (1)石川県の防災計画等 (2)石川県の精神保健医療提供体制  (3) DPAT先遣隊研修復命	石川県危機対策課 課参事 野見 佳賢 氏 石川県障害保健福祉課 医療支援 GL 北野 浩子 氏 石川県立高松病院 主任（看護師） 前野 加代子 氏
III 講義 DMATと災害医療コーディネーター	石川県立中央病院 統括DMAT 明星康裕 氏
IV 講義 災害時のロジスティクスとは	DPAT事務局 白井 裕子 氏
V 講義・演習 地域支援時の記録 EMIS	
VI 講義 DPATのTTT	DPAT事務局 望月 聡一郎 氏
VII 講義 病院支援 トリアージ法	

VI 机上訓練 病院支援 (入院患者搬送用紙の作成)	D P A T事務局 白井 裕子 氏 <ファシリテーター> D P A T事務局 鈴木 健一 氏 望月 聡一郎 氏 大森 一郎 氏 こころの健康センター所長 角田 雅彦
----------------------------------	---

**ウ ひきこもり対策** (詳細は P34 参照)

(ア) ひきこもり対策ネットワーク会議 コロナウイルス感染拡大のため開催中止

**エ 自殺予防関連研修会** (詳細は P42～P45 参照)

(ア) 包括的支援のための多職種事例検討会 開催回数 3 回、参加者数 107 人

(イ) ゲートキーパー指導者研修会 開催回数 1 回、参加者数 40 人

(ウ) 救急告示医療機関職員等に対する研修会 コロナウイルス感染拡大のため開催中止

**オ 子どもの心のケア推進事業** (詳細は P49～52 参照)

(ア) 子どもの心の支援者研修会

a 子どもの心の問題に携わる関係者育成セミナー

講演会 開催回数 5 回、参加者数 297 人

b 発達障害等早期支援関係者セミナー

講演会 開催回数 2 回、参加者数 101 人

(イ) 子どもの心の支援事例検討会

a 未就学児等事例検討会 開催回数 2 回、参加者数 80 人

b 児童・青年期事例検討会 開催回数 4 回、参加者数 233 人

### (3) 普及啓発

一般県民等を対象として、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発を実施した。

#### ア 公開講演会

(ア) アディクション関連問題講演会（依存症関連問題指導事業（P38）に掲載）

(イ) こころの健康づくり講演会（自殺予防対策推進事業（P41）に掲載）

#### イ 講師を派遣した講演会

県	障害保健福祉課	自殺対策連絡会議	1	52人
	自治研修センター	職場のメンタルヘルス	4	207人
	消防学校	指導救命士養成研修	1	25人
		初任教育メンタルヘルス	1	46人
		幹部教育、人事管理	1	20人
	警察本部	障害者への理解と対応	1	13人
	石川県市町村職員研修所	職場のメンタルヘルス他	3	147人
	石川県央農林総合事務所	職場におけるメンタルヘルス	1	50人
市町	小松市いきいき健康課	いのちの大切さを学ぶ講演会	2	80人
	羽咋市役所	ゲートキーパー養成研修	1	40人
	能登町役場	ゲートキーパー研修	1	40人
	宝達志水町	職員ゲートキーパー研修会	1	130人
	穴水町教育委員会	豊かな心をはぐくむ町民大会講演	1	70人

	派遣先	内容	回数	参加人数
教育	小松市立芦城中学校	命の授業	1	171人
	小松市立安宅中学校	命の大切さの授業	1	50人
	小松市立御幸中学校	命の大切さの授業	1	55人
	小松市立丸内中学校	命の大切さの授業	1	45人
	小松市立板津中学校	命の大切さの授業	1	100人
	小松市立中海中学校	命の大切さの授業	1	61人
	小松市立国府中学校	命の大切さを学ぶ授業	1	60人
	県立総合看護専門学校	気分障害	1	40人
	中央高校	ゲートキーパー研修	1	70人
	金沢大学	精神医療体制と行政	1	100人
	富山大学	自殺予防の講演	1	107人
その他	チャイルドライン	気になる子どもたち	1	20人
	金沢弁護士会	精神疾患の基礎知識、自殺対策	2	40人
	清湖の杜	職員のメンタルヘルス	1	10人
	澄鈴会	メンタルヘルス講演会	1	50人
計			35	1,899人

#### ウ 自殺予防街頭キャンペーン (詳細は P41 参照)

日時 令和元年9月10日(火) 7:30~8:30

場所 JR金沢駅東口、香林坊大和前

#### エ 自殺予防に関する普及啓発資料 (詳細は P41 参照)

啓発媒体として、チラシ、ポスター、パンフレットを作成し、県民や関係機関へ配布した。

#### オ 障害者ふれあいフェスティバルにおける福祉相談コーナーの設置

心の健康に関する正しい知識について普及啓発することを目的に、障害者ふれあいフェスティバルにおいてこころの健康づくりコーナーを設置した。

日時 令和元年9月22日(日) 10:00~16:00

場 所 石川県産業展示館 4 号館  
 内 容 こころの健康づくりに関するパネル展示

#### カ 普及啓発資料

こころの健康センターの事業の紹介や精神保健の動向について発行した。

媒体	内 容	発行部数
センター だより	第90号 特集「ひきこもり対策 ～8050問題について～」	600部
講演録	令和元年度子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー 「発達障害の子どもや大人の感覚と運動機能からくる生きづらさの 理解と支援」	300部

#### キ マスコミ活用（報道等で掲載されたもの）

期 日	報 道 機 関	内 容
R1.7.17	広報いしかわ	こころの健康づくり講演会開催案内
H31.4～R2.3	市町広報 3 市町	自死遺族交流会の案内

#### ク 普及啓発教材の貸出

病院や地域関係機関にビデオ、パネル等の貸し出しを行っており、令和元年度は 8 件の依頼があった。

#### ケ 関係機関情報の作成

石川県内の精神保健福祉に関する社会資源の情報をまとめ、ホームページに掲載した。  
 アドレス <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/shiryuu.html>

#### (4) 精神保健福祉相談

令和元年度の精神保健福祉相談延件数は、9,694件で、電話相談が8,355件(86.2%)、来所相談が1,339件(13.8%)であった。来所相談の新規相談は282件であった。そのうち今年度初めてのNew相談件数は150件であった。また訪問等は、30件実施した。(表1、表2)。

性別では、「男」が5,057件(52.2%)、「女」が4,637件(47.8%)であった(表1)。

年齢別では、「50～59歳」が2,645件(31.4%)と最も多く、次いで「30～39歳」が2,009件(20.7%)、「40～49歳」が1,962件(20.2%)となっている(表3、図1)。

相談区分では、「社会復帰」が4,733件(48.8%)で最も多く、次いで「心の健康づくり」が3,660件、「うつ・うつ状態」が524件の順であった。また相談区分をキーワードにより再掲(複数回答)すると、発達障害が858件と最も多く、次いでひきこもりが731件となっている(表4)。

思春期相談(対象年齢12歳～18歳)は225件の相談があり、性別にみると「男」が107件(47.6%)、「女」が118件(52.4%)であった(表5)。

#### ア 電話相談

電話相談は、当センターへの電話相談及び専用電話「こころの相談ダイヤル」への相談を合わせたもので、令和元年度の相談件数(延件数)は8,355件であり、性別にみると男性4,001件(47.9%)、女性4,354件(52.1%)と、女性の方が353件多かった(表1)。

年齢別では、「50～59歳」が2,536件(30.3%)と最も多く、次いで「40～49歳」が1,871件、「30～39歳」1,552件の順であった(表3、図1)。

相談区分別では、「社会復帰」が4,547件(54.4%)で最も多く、次いで「心の健康づくり」が2,863件、「うつ・うつ状態」が352件の順であった。また相談区分をキーワードにより再掲(複数回答)すると、「発達障害」が464件(5.6%)と最も多く、次いで「ひきこもり」が130件であった(表4)。

内容別相談件数では「社会復帰・デイケアの問題」が2,412件(28.9%)と最も多く、次いで「精神障害者・生活上の問題」1,637件(19.6%)、「日常生活に関する心配・不安」1,161件(13.9%)、の順であった(表6、図2)。

電話相談における対応状況としては、「傾聴・助言」が7,488件(89.6%)と最も多く、次いで「他機関紹介」が527件(6.3%)、「来所相談の勧奨」が194件(2.3%)であった(表7)。



## イ 来所相談

来所相談は、原則として予約制で、相談課職員が対応しており、必要に応じ所長または囑託医（精神科医・小児科医）の診察を実施している。

令和元年度の来所相談件数（延）は1,339件であった（表1）。

年齢別では、「20～29歳」が484件（36.2%）と最も多く、次いで「30～39歳」が457件、「10～19歳」が129件の順であった（表3、図1）。

相談区分別では、「心の健康づくり」が797件（59.5%）で最も多く、次いで「社会復帰」が186件「うつ・うつ状態」が172件の順であった。相談区分をキーワードにより再掲（複数回答）すると、「ひきこもり」が601件（44.9%）と最も多く、次いで「発達障害」が394件であった（表4）。

内容別相談件数では、「ひきこもり」が496件（37.0%）と最も多く、次いで「性格・行動上の悩み」が172件で、「不登校・学校不適應」が117件の順であった（表6、図2）。

新来相談の来所経路は、男女ともホームページや口コミにより「直接」来所してくる場合が101件（67.3%）と一番多い。次いで「その他」が15件、「医療機関（精神科・一般）」が13件の順であった（表8）。

来所相談における対応状況としては、「助言」が1,239件（92.5%）と最も多かった。来所者への診察は52件（うち「診断書発行」は0件）、検査は18件を実施している（表9）。また相談結果の紹介先として、「医療機関（主に精神科）」が22件であった（表10）。

来所相談における診断状況をみると、「不明（医師の診察を受けていない）」が674件（50.3%）と「診断保留」が152件（11.4%）で、半数以上（61.7%）を占めていた。診断された方は、「気分（感情）障害」が225件（16.8%）と最も多く、次いで「心理的発達の障害」が128件（9.6%）、「神経症性障害等」が57件（4.3%）の順であった（表11）。

表1 精神保健福祉相談実施状況

	男		女		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
電話相談	4,001	47.9	4,354	52.1	8,355	100
来所相談	1,056	78.9	283	21.1	1,339	100
初回相談	198	70.2	84	29.8	282	100
新来	93	62.0	57	38.0	150	100
継続相談	858	81.2	199	18.8	1,057	100
合計	5,057	52.2	4,637	47.8	9,694	100

件数は延件数

電話相談は無言87件を除く

表2 精神保健福祉相談件数の推移

年度	電話相談	来所相談	計	訪問等
H27	7,810	1,749 (184)	9,559	16
H28	7,626	1,580 (188)	9,206	10
H29	7,728	1,259 (159)	8,987	7
H30	6,991	1,219 (190)	8,210	18
R1	8,355	1,339 (150)	9,694	30

※件数は延件数（電話相談は無言 87 件を除く） 注：（ ）は内数で新来相談件数

※訪問等は来所相談の内数

表3 年齢別相談件数

年齢区分	相 談 区 分				合 計	
	電 話 相 談		来 所 相 談		件数	%
	件数	%	件数	%		
0～9歳	15 件	0.2 %	28 件	2.1 %	43 件	0.4 %
10～19歳	147	1.8	129	9.6	276	2.9
20～29歳	442	5.3	484	36.2	926	9.6
30～39歳	1,552	18.6	457	34.1	2,009	20.7
40～49歳	1,871	22.4	91	6.8	1,962	20.2
50～59歳	2,536	30.3	109	8.1	2,645	27.3
60～69歳	443	5.3	22	1.6	465	4.8
70歳～	78	0.9	17	1.3	95	1.0
不 明	1,271	15.2	2	0.2	1,273	13.1
合 計	8,355	100.0	1,339	100.0	9,694	100.0

※件数は延件数（電話相談は無言 87 件を除く）

図1 精神保健福祉相談における年齢別内訳

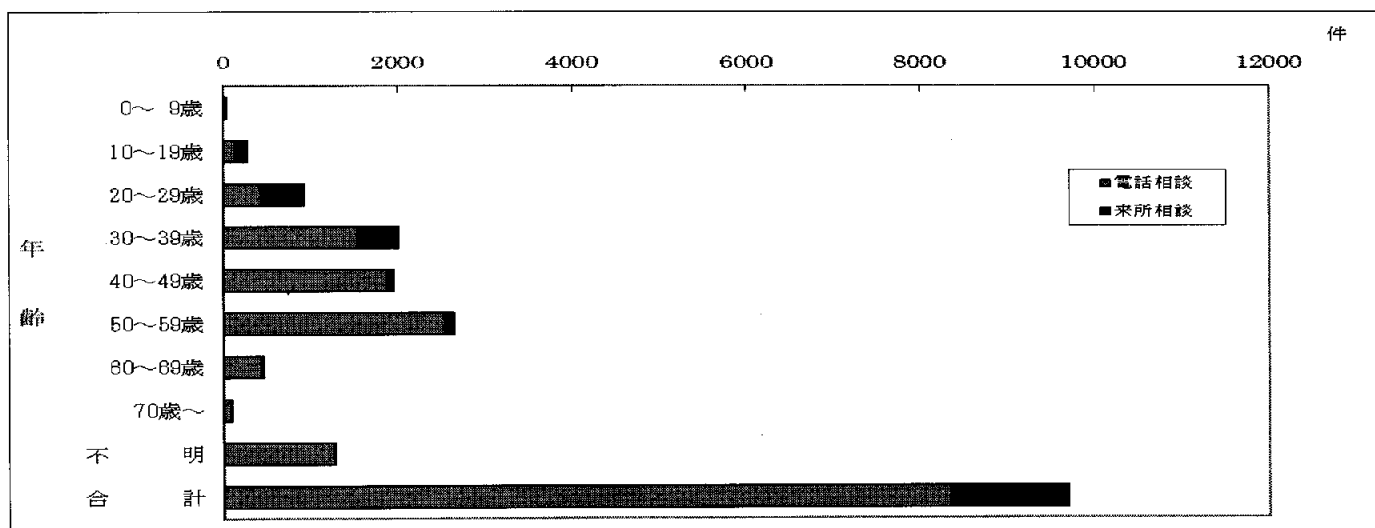


表4 相談区分別内訳

相談区分	令和元年度				平成30年度	
	電話相談	来所相談	(新来)※	合計	相談合計	
老人精神保健	32	1	(1)	33	60	
社会復帰	4,547	186	(9)	4,733	4,417	
アルコール	46	13	(4)	59	89	
薬物	17	7	(5)	24	12	
ギャンブル	33	53	(11)	86	63	
ゲーム	13	3	(2)	16	—	
思春期 ※※	126	99	(19)	225	331	
心の健康づくり	2,863	797	(71)	3,660	2,240	
うつ・うつ状態	352	172	(23)	524	463	
摂食障害	10	0	(0)	10	22	
てんかん	7	0	(0)	7	1	
その他	309	8	(5)	317	512	
計	8,355	1,339	(150)	9,694	8,210	
再掲 (*)	ひきこもり	130	601	(23)	731	763
	発達障害	464	394	(21)	858	758
	自殺	109	110	(11)	219	178
	(再)自殺遺族	7	32	(3)	39	36
	犯罪被害	0	0	(0)	0	0
	災害	0	0	(0)	0	0

※ 来所相談の(新来)は内数、電話相談は無言87件を除く

※※思春期は、12歳～18歳の者

\* 再掲は、複数の区分に該当する場合は、それぞれに計上

表5 思春期相談(男女別:再掲)

相談区分	男	女	合計(延)
電話相談	48件	78件	126件
来所相談	59	40	99
合計	107	118	225

表6 内容別相談件数

相談内容	相談区分				合計	
	電話相談		来所相談			
	件数	%	件数 (実)	%	件数	%
発達上の問題	309件	3.7%	23件 (12)	1.7%	332件	3.4%
不登校・学校不適応	80	1.0%	117 (21)	8.7	197	2.0
ひきこもり	117	1.4%	496 (65)	37.0	613	6.3
非行・反社会的問題	10	0.1%	10 (2)	0.7	20	0.2
暴力	262	3.1%	95 (26)	7.1	357	3.7
家庭内の問題	368	4.4%	41 (13)	3.1	409	4.2
出産・育児上の悩み	29	0.3%	3 (0)	0.2	32	0.3
更年期の悩み	1	0.0%	0 (0)	0.0	1	0.0
高齢者の問題	24	0.3%	2 (2)	0.1	26	0.3
仕事・職場の悩み	456	5.5%	34 (14)	2.5	490	5.1
身体上の悩み	48	0.6%	10 (2)	0.7	58	0.6
摂食障害	9	0.1%	0 (0)	0.0	9	0.1
性格・行動上の悩み	170	2.0%	172 (40)	12.8	342	3.5
対人関係上の悩み	200	2.4%	23 (10)	1.7	223	2.3
アルコール問題	49	0.6%	12 (7)	0.9	61	0.6
薬物問題	20	0.2%	7 (6)	0.5	27	0.3
ギャンブル問題	32	0.4%	46 (11)	3.4	78	0.8
アルコール・薬物以外の依存	35	0.4%	4 (3)	0.3	39	0.4
性についての悩み	35	0.4%	31 (2)	2.3	66	0.7
日常生活に関する心配・不安	1161	13.9%	15 (7)	1.1	1176	12.1
神経症	10	0.1%	11 (6)	0.8	21	0.2
精神障害への不安	231	2.8%	13 (5)	1.0	244	2.5
病気の治療上の問題	188	2.3%	18 (5)	1.3	206	2.1
社会復帰・デイケアの問題	2,412	28.9%	93 (12)	6.9	2,505	25.8
精神障害者への対応	113	1.4%	12 (3)	0.9	125	1.3
精神障害者の生活上の問題	1,637	19.6%	25 (4)	1.9	1,662	17.1
情報提供	51	0.6%	0 (0)	0.0	51	0.5
その他	298	3.6%	26 (4)	1.9	324	3.3
合計	8,355	100%	1,339 (282)	100.0	9,694	100.0

件数は延件数（実件数）

電話相談は無言 87 件を除く

図2 内容別相談件数

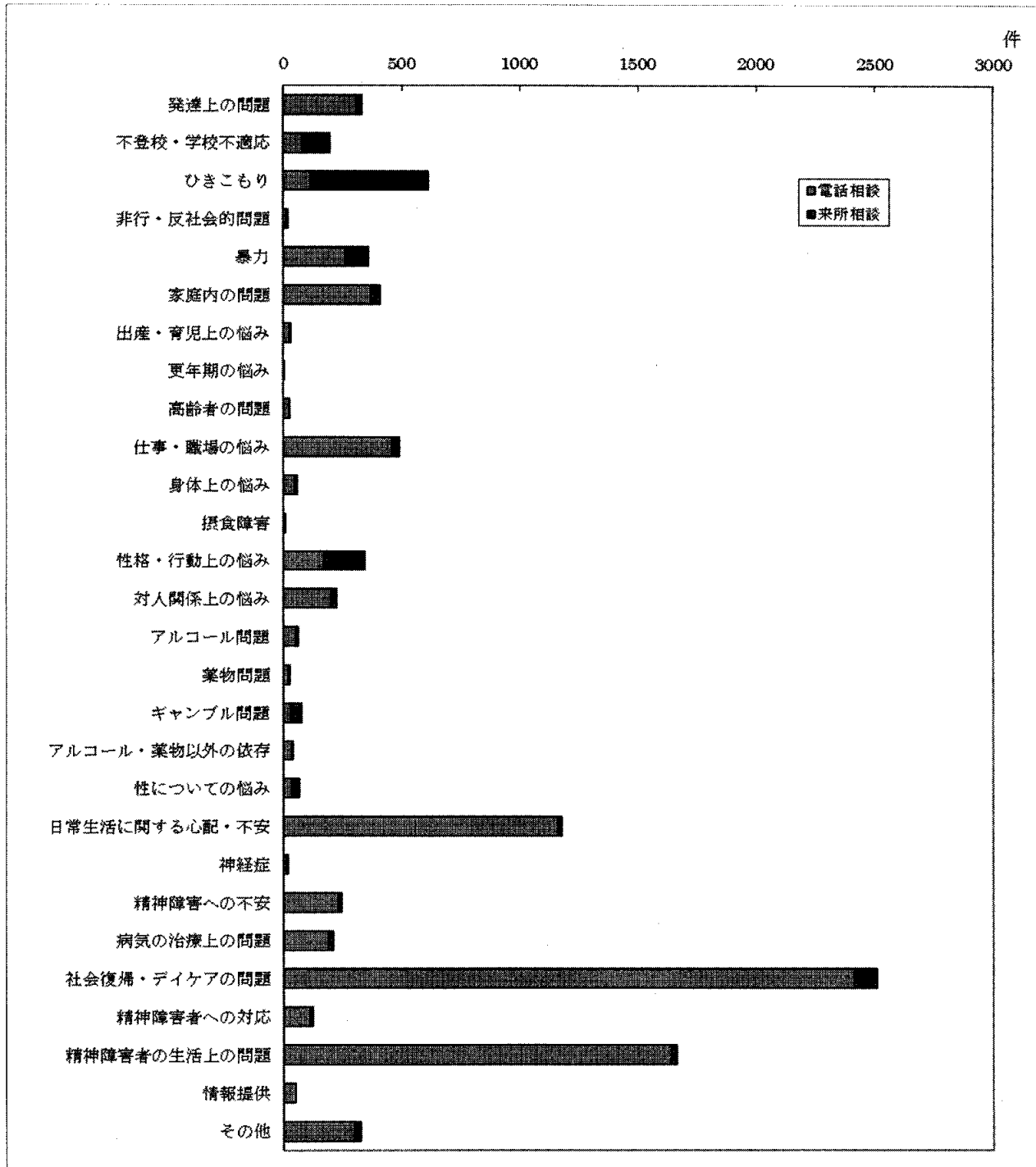


表7 電話相談における対応状況

区分	傾聴・助言	センター (来所相談) へ紹介	他機関紹介	その他	再連絡	合計
件数	7,488	194	527	146	0	8,355
%	89.6%	2.3%	6.3%	1.8%	0%	100%

件数は延件数

表8 新来相談における来所経路

経路	性別	男	女	合計
直接 (ホームページ等含む)		60	41	101
医療機関 (精神科)		3	5	8
医療機関 (一般科)		2	3	5
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター		1	0	1
児童相談所		0	0	0
福祉事務所		0	0	0
児童・民生委員		0	0	0
施設・学校		2	2	4
ハローワーク (職業安定所・ジョブカフェ石川)		7	1	8
警察		0	0	0
県庁・市町役場		1	1	2
その他の相談機関		3	2	5
こころの相談ダイヤル		0	0	0
その他の電話相談		1	0	1
その他		13	2	15
合計		93	57	150

件数は実件数

表 9 来所相談における対応状況

対応状況	来所者区分	初回相談（実件数）		継続相談 （延件数）	合計
		新	来		
助言・継続面接		269 件	142 件	970 件	1,239 件
診察		8	6	44	52
	（内）診断書発行	0	0	0	0
検査等※		2	0	16	18
訪問		3	2	27	30
合計		282	150	1057	1,339

※ 知能・心理検査、検査結果の説明などを行ったもの

表 10 来所相談・訪問相談における関係機関への紹介先

紹介先	来所者区分	初回相談（実件数）		継続相談 （延件数）	合計
		新	来		
医療機関		8 件	3 件	14 件	22 件
保健所		2	1	0	2
福祉機関		1	0	4	5
教育機関		0	0	1	1
その他		1	1	0	1
合計		12	5	19	31

表 1 1 来所相談における診断状況

診断名	来所者区分		継続相談 (延件数)	合 計	
	初回相談(実件数)	新来			
症状性を含む器質性精神障害	2 件	2 件	0 件	2 件	0.1 %
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	7	4	4	11	0.8
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	13	9	32	45	3.3
気分（感情）障害	34	15	191	225	16.8
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	14	5	43	57	4.3
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0	0	0	0
成人の人格及び行動の障害	4	0	29	33	2.5
知的障害＜精神遅滞＞	0	0	11	11	0.8
心理的発達の障害	22	5	106	128	9.6
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0	0	0	0	0
神経疾患等	1	0	0	1	0.1
てんかん	0	0	0	0	0
診断保留	35	15	117	152	11.4
不明	150	95	524	674	50.3
合 計	282	150	1,057	1,339	100.0



## (5) 組織育成

令和元年度に、当センターが直接かかわりをもった組織は、石川県精神障害者家族会連合会、石川県精神障害者支援事業所連絡会、石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会、石川県精神保健福祉協会、依存症関連自助グループの各団体である。

それぞれに対する支援の回数、参加人数は表1のとおりである。

表1 協力組織への支援

対 象	回 数	参加人数
石川県精神障害者家族会連合会	41	651
石川県精神障害者支援事業所連絡会	6	41
石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会	6	70
石川県精神保健福祉協会	25	899
依存症関連自助グループ	64	202
合 計	118	981

### ア 精神障害者家族会

#### (ア) 石川県精神障害者家族会連合会 (石家連)

精神障害者家族会は、昭和48年から石川県内の保健所単位に地域家族会が結成され、昭和49年2月に10家族会による連合会が発足した。

その後、病院家族会の参加や地域家族会の統合等により、令和元年度は、9家族会で、会員は168名である。

石家連への支援は、総会を始め各理事会、みんなねっと北信越家族会精神保健福祉研修会及び実行委員会、精神障害者家族会と病院長等との懇談会、行政との懇談会など、計41回の支援を行った。

令和2年4月より名称を石川県精神保健福祉家族会連合会と変更すると総会で決定する。

#### (イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は必要に応じて講師及び助言支援を行っている。

## **イ 石川県精神障害者支援事業所連絡会**

平成5年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、活動を行ってきた。作業所数が大幅に増加したことから、平成8年5月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者支援事業所連絡会が発足し、月1回の例会等の活動を行っている。令和元年度は、14ヶ所の精神障害者支援事業所が参加している。当センターからは、総会や定例会の会場提供や出席を通して、活動を支援している。

## **ウ 石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会**

昭和63年に当センターでメンタルヘルスボランティア講座が開催され、各グループによる積極的な活動が行われてきた。平成11年に連絡会が開催され、平成13年度には「石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会」が発足。令和元年度には6グループが活動している。当センターからは、総会での会場提供や出席を通して、活動を支援している。

## **エ 石川県精神保健福祉協会**

昭和35年10月に石川県精神衛生協会が結成され、平成3年6月、名称を石川県精神保健協会、平成10年6月に石川県精神保健福祉協会と改めている。令和元年度会員は、個人会員302名、団体会員27団体、特別会員12病院となっている。

表2 精神保健福祉協会への支援

期 日	内 容	対 象	人 数
R1. 5. 28 ~ R2. 2. 11 まで	こころの健康づくり講師派遣事業	地域、学校、 職域等の団体	8回 308人
R1. 4. 1 ~ R2. 3. 31 まで	〃 関係事務	〃	8回 8人
H31. 4. 26	表彰審査委員会	委員等	9人
R1. 5. 15	理 事 会	理事、監事等	15人
R2. 3. 4	〃	〃	14人
R1. 6. 22	総 会	会員、関係者等	65人
	精神保健講演会 演題：「スマホ時代の子どもたちのために」	会員、一般	107人
R1. 8. 24	精神保健福祉研修会 演題：「子どもの未来を 生き抜く力を育むために」	関係機関職員、 保健所、一般	94人
R1. 10. 20	第2回精神保健福祉フォーラム（精神保健福祉研究会） テーマ「石川のみんなで子どもたちの命と心 を支えよう」 特別講演 演題：「ひとりじゃないよ ～院内学級の子どもたちが教えてくれ た大切なこと～」 パネルディスカッション	関係機関職員、 保健所、一般	137人
R1. 12. 5	精神障害者家族会と病院長等との懇談会 演題：「就労継続支援B型事業所にかかわっ て」	関係機関職員、 一般	64人
R2. 1. 25	地域精神保健専門委員会講演会 演題：「発達障害の子どもや大人の感覚と運 動機能からくる生きづらさの理解と 支援」	関係機関職員、 教育関係者、 一般	73人
R2. 3. 16	会報編集委員会	委員等	5人

計25回 899人

### オ 依存症関連自助グループ

令和元年度における、当センターが把握している依存症関連自助グループは、アルコール、薬物、ギャンブル、摂食障害、ACなどに関する22グループである。活動に関する周知協力や、情報交換、ミーティングへの参加などを通して活動を支援している。

## (6) ひきこもり社会参加復帰支援事業

平成 13 年 4 月から、青年期におけるひきこもりや不登校を対象として事業が開始され、平成 21 年度からは、ひきこもり地域支援センター事業を兼ねて実施している。

地域の保健所や関係機関と連携を図りながら、個別相談や家族交流会、ひきこもり当事者グループ活動、必要に応じて関係機関への訪問等の活動を行った。

また、平成 26 年度から「ひきこもりサポーター養成研修」を実施し、保健所等への派遣を行っている。

### ア 個別相談

専用の相談窓口、相談日は設けず、随時相談に応じている。

表 1 ひきこもり相談件数

区 分	延件数
電 話 相 談	130 件
来 所 相 談	597 件
訪 問 等	4 件
メ ー ル へ の 対 応	1 件
合 計	732 件

### イ ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）活動

ひきこもっている若者たちが安心して過ごせる「居場所」を確保し、同じ悩みをもつ仲間との交流体験を通して、孤独感の軽減、対人関係の改善や社会性の向上、ひきこもりや社会不適應からの脱却を図るために実施した。

日 時：毎週木曜日 13:30～15:30

回 数：年 44 回

内 容：スポーツ、散策、ゲームなど、参加者が話し合いによって決める。

対 象：概ね 18 歳以上のひきこもり状態の方

参加数：実人数 18 人（男性 12 人女性 6 人）延べ 193 人

## ウ ひきこもり家族交流会

ひきこもり問題に悩む家族がその経験や思いを共有することで、孤立感を和らげるとともに、それぞれが抱える問題への対応能力を向上するために、交流会を開催した。

日 時：年 5 回土曜日 13：30～15：30

内 容：①ウォーミングアップ（気分調べ）②ワーク（初回のみ講義）③終わりの感想

対 象：当センターで個別相談を継続している家族、及び「ひきこもり家族教室」や「ひきこもり家族交流会」に参加経験のある家族

表 2 開催状況

開催日	テーマ	参加数
令和元年 5 月 18 日	ひきこもりの若者を取りまく状況	5 家族 6 名
平成元年 7 月 20 日	前向きなコミュニケーションを考えてみましょう①	4 家族 5 名
令和元年 9 月 28 日	ひきこもりサポーターによる体験発表	6 家族 7 名
令和元年 11 月 30 日	前向きなコミュニケーションを考えてみましょう②	2 家族 2 名
令和 2 年 1 月 18 日	先回りの心配をやめて家族の生活を豊かにする	3 家族 3 名

## エ ひきこもり対策地域ネットワーク会議

ひきこもり相談支援に関する連携が効果的かつ適切に機能することを目的に、関係機関による連絡会及び講演会を開催予定としていたが、コロナウイルス感染拡大のため、本年度は中止となった。

## オ ひきこもりサポーター養成研修

ひきこもり経験のある当事者や家族が自らの経験を生かしてひきこもりに悩む当事者や家族の支援をする、「ひきこもりサポーター」を養成するとともに、研修終了後、行政機関や団体等が行う相談や支援等にひきこもりサポーターとして活動することを希望した者を登録した。

日 時：令和元年 11 月 1 日（土曜日）13：00～17：00

内 容：講義①：「ひきこもりに関する基礎知識」

講義②：「ひきこもりサポーターの活動について」

講義③：「自分の経験や思いを表現する」

演習①：「自分の経験談をまとめよう」

演習②：「自分の経験を発表しよう」

説明：「ひきこもりサポーターの登録と活動について」

修了証書交付、ひきこもりサポーター登録

受講及び登録者：当事者 2 人（うち登録者 2 人）、家族 1 人（うち登録者 1 人）

サポーター 2 人 計 5 名

## カ ひきこもりサポーター派遣

保健所等が開催するひきこもり教室等において、ひきこもり家族や支援者が、その経験を聞き対応等を学ぶために、登録したひきこもりサポーター(当事者または家族)を派遣した。

表 3 ひきこもりサポーターの派遣状況

派 遣 先	当事者		家族	
	回数	人数	回数	人数
石川中央保健福祉センター (河北地域センター)	1 回	2 人	-	-
能登中部保健福祉センター (羽咋地域センター)	1 回	2 人	-	-
能登北部保健福祉センター (県立生涯学習センター)	-	-	1 回	1 人
こころの健康センター	2 回	2 人	2 回	2 人
計	4 回	6 人	3 回	3 人

## キ ひきこもりサポーターフォローアップ研修

登録しているひきこもりサポーターを対象に、活動上の不安の解消、実際の活動に関する情報の共有、サポーター同士の繋がり強化を図るために研修会を開催した。

日 時：令和元年12月20日（土）13：30～15：30

内 容：ひきこもりからの回復と最近の動向について（講義）

ひきこもりサポーターの活動状況について（報告）

グループワーク（活動に関する意見交換と交流）

参加者：当事者サポーター2名、家族サポーター4名

## (7) 依存症関連問題指導事業

### ア 特定相談指導

表1 相談指導状況

区分	来所相談			電話相談	その他 (メール・手紙)
	計	男	女		
アルコール問題	12 (7)	9 (4)	3 (3)	49	0
薬物問題	7 (6)	6 (5)	1 (1)	20	0
ギャンブル問題	46 (11)	42 (10)	4 (1)	32	0
アルコール・薬物・ギャンブル以外	4 (3)	4 (3)	0 (0)	35	1
計	69 (27)	61 (22)	8 (5)	136	1

件数は延人数（カッコ内は実人数）

### イ 依存症教室

アルコールや薬物、ギャンブルへの依存と自殺には密接な関係があると指摘されている。アルコールや薬物、ギャンブル依存症の当事者、家族、支援者が、依存症に対する理解を深め、適切な対応や支援が行えることを目的に、依存症教室を開催した。

内 容：講義及び参加者からの質疑、講師からの助言

表2 依存症教室の開催状況

開催日	テーマ	講師	参加数(人)
令和元年7月17日	依存症とは	新阿武山クリニック 西川 京子氏 (ソーシャルワーカー)	15
令和元年9月20日	ご家族に知って いただきたい、 回復の道筋	岡部診療所 西念 奈津江氏 (ソーシャルワーカー)	15
令和元年3月2日	ギャンブル障害 の基礎知識と SAT-G	島根県立心と体の相談セ ンター 佐藤 寛志氏 (主任精神保健福祉士)	コロナウ イルス感染 拡大防止に より延期
計			30



## ウ 事例検討会

名 称：(再掲) 第2回包括的支援のための多職種事例検討会

開催日：令和元年9月3日

内 容：処方薬依存と希死念慮のある方への支援

対 象：司法・福祉・行政等支援機関職員 35名

## エ アディクション関連問題講演会

※コロナウイルス感染拡大防止により延期

## オ 依存症家族交流会（サンサンの会）

アルコール、薬物、ギャンブル依存症者の家族が、適切な理解と対応を学び、同じ立場で分かち合える場として、平成27年度から家族交流会を開催している。

対象及び人数：アルコール、薬物、ギャンブル依存症者の家族（実8人、延21人）

内 容：書籍『アルコール・薬物・ギャンブルで悩む家族のための7つの対処法  
CRAFT』を用い、読み合わせとワーク、分かち合いを行う。

表3 サンサンの会の開催内容

回	テーマ
第1回	状況をはっきりさせよう
第2回	コミュニケーションを変える
第3回	望ましい行動を増やす
第4回	イネイブリングをやめるとは
第5回	あなた自身の生活を豊かにする

## カ 依存症再発予防プログラム（いしかわ〜ぷ）

アルコール、薬物依存症の当事者が、回復に向けて具体的かつ効果的に取り組むことを目的として、平成27年度から開始した。令和元年度は、集団プログラムを1クール8回セッションで年3クール開催した。

対 象：アルコールや薬物の使用について困っている本人で、その使用を止めたいと願う者

参加人数：実2人、延べ7人

内 容：テキスト「いしかわ〜ぷ」（ISHIKAWA mental health center Relapse Prevention Program）を使用した集団プログラム  
1クールにつき2回、富山ダルク職員にリカバリングスタッフとして出席を依頼した。

表4 いしかわ〜ぷ各回のテーマ

回	テーマ
第1回	(1) アルコールや薬物が脳に与える影響 (2) 引き金と渴望
第2回	(1) 思考停止法 (2) 外的な引き金と内的な引き金
第3回	(1) 回復の地図 (2) 回復初期によく起こる問題とその解決方法
第4回	自助グループー信頼・正直さ・仲間
第5回	(1) 思考・感情・行動 (2) アルコールについて考える
第6回	(1) 再使用を防ぐためにーその1ー (2) 再使用を防ぐためにーその2ー
第7回	再使用を防ぐためにーその3ー
第8回	強くなるより賢くなるう

## (8) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成13年10月の「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)の施行に先立ち、平成13年4月から暴力を止めたい男性が相談できる場所として、個別相談窓口を開設している。

### ア DV相談件数

表1 DV個別相談件数

区 分		計	電話相談	来所相談
DVに関する相談件数		384件	295件	89件(17)
うちDV抑止に関する相談		350件	269件	81件(15)
相 談 者 内 訳	加 害 男 性	333件	255件	78件(12)
	加 害 女 性	2件	1件	1件( 1)
	被 害 女 性	9件	7件	2件( 2)
	被 害 男 性	0件	0件	0件( 0)
	加害男性の家族等	3件	3件	0件( 0)
	被害女性の家族等	1件	1件	0件( 0)
	そ の 他	2件	2件	0件( 0)

※ ( ) は実件数

### イ DV関係機関職員研修

配偶者等からの暴力を防止し、被害者の保護や支援を図るため、関係する機関・団体にたいし、「DV関係機関職員研修会」を開催し、加害者問題への関心を深めてもらうとともに、相談支援の際の面接技法を学ぶ機会とする。

対 象：DV関係機関職員

開催日時：令和元年7月19日(金)10:00~16:30

参加人数：61人

内 容：午前 講演 「加害者の暴力克服支援と被害者支援の整合性」  
～暴力を振るう方が変わらないと

DVはなくなるらない～

講師：メンタルサービスセンター代表 草柳 和之 氏

午後 講義1 「DV加害者への対応と面接技法」

講義2 「DV被害者の初期段階の対応と面接技法」

## (9) 自殺予防対策推進事業

### ア 自殺予防に向けた普及啓発の充実

#### (ア) 自殺予防街頭キャンペーン等

9月10日の世界自殺予防デーにちなんで、毎年、9月10日から16日までの一週間で「自殺予防週間」として設定し、県民に自殺予防の呼びかけやうつ病等の精神疾患に対する正しい知識や相談窓口等の周知について普及啓発することを目的に街頭キャンペーンを実施した。

日 時	令和元年9月10日(火) 7:30~8:30
場 所	JR金沢駅東口、香林坊大和前
内 容	・街頭での自殺予防の呼び掛け ・啓発用グッズの配布(ポケットティッシュ、絆創膏、ポストイット等) ・キャンペーンのぼりの設置

#### (イ) 自殺予防に関する普及啓発資料

こころの健康づくり講演会「子ども・若者の生きるを支える」 チラシ 6000部

#### (ウ) 講演会

日 時	令和元年8月24日(土) 13:30~16:00
講 師	阪中 順子 氏(兵庫県加古川市教育委員会 学校支援カウンセラー)
内 容	講演「子どもの未来を生き抜く力を育むために」
参加者	一般県民 94人

### イ 自殺予防のための相談・支援の充実

#### (ア) 民間団体との連携会議

自殺予防週間や月間事業の一環として、かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ(以下の民間団体:石川県宗教連盟、NPO ささえる絆ネットワーク北陸、NPO しあわせの輪グループ、NPO 法人金沢あすなる会、NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク石川、公益社団法人金沢こころの電話、子ども夢フォーラム、一般財団法人メンタルケア協会石川事務所、ひまわりの会、小さな天使のママの会)と県が連携し、自殺対策に向けて事業の計画検討や情報交換を行った。

回数	日時	内容	団体数及び参加数
1回	H31.4.19	自殺予防週間関連講演会の事業計画 検討	9団体 13人
2回	R1.5.24		6団体 10人
3回	R1.6.14		6団体 10人
4回	R1.8.9		7団体 10人
5回	R1.10.10		8団体 12人
6回	R1.11.29		5団体 9人
7回	R2.1.29		9団体 13人

(イ) 自殺対策地域連絡会議への支援

実施予定日：令和2年3月4日(水)

技術援助先：能登中部保健福祉センター

※コロナウイルス感染症感染拡大のため中止

(ウ) 包括的支援のための多職種事例検討会

平成26年度から自殺のさまざまな要因に関連が深い分野の専門家や支援者等多くの職種が、事例を通して支援のあり方を共有し連携して支援する仕組みを検討した。

参集者：弁護士、司法書士、医療機関職員、行政機関（警察・消防・市町）等

実施日	内容	人数
R1.7.8	事例検討①「摂食障害の女性の救急搬送対応について」 事例検討②「外国籍女性の搬送困難事例について」 事例検討③「自殺企図のある女性の退院後支援について」	40人
R1.9.3	事例検討①「自殺願望がある心身障害の男性の支援について」 事例検討②「死にたい」と訴える方の支援について」	35人
R1.11.11	事例検討①「愛された記憶が弱く、心の拠り所がない生徒」 事例検討②「校内で自傷行為をする相談室登校の生徒への対応」	32人

## ウ こころの健康づくりと早期発見・治療の促進

### (ア) ゲートキーパー養成等事業

地域の中で悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげるゲートキーパーの役割を担う人を育成し、自殺予防につなげることを目的とする。

#### a ゲートキーパー指導者研修会

地域において、自殺防止対策のリーダーとして活動できる人材を養成するとともに、これまで養成したゲートキーパーリーダーの更なる資質の向上のため研修会を開催した。

日時：令和元年7月31日（水）13:00～16:45

講師：こころの健康センター所長・精神科医 角田 雅彦

内容：講演「ゲートキーパー指導者にとって大切なこと」

グループディスカッション「世代別のゲートキーパーの役割と実践」

演習「自殺念慮を聞き出す」

参加者：行政機関の自殺対策担当者、職能団体職員、民間団体 40人

#### b ゲートキーパー出前講座（※）

講師：こころの健康センター所長 角田 雅彦（精神科医）

	実施機関	対 象	参加数
県	石川県人事課	新任係長（3回）	150人
	県央農林総合事務所	職員	50人
	石川県警察本部	職員	13人
市町	小松市いきいき健康課	中海中学校中学2年生	61人
		板津中学校中学2年生	100人
		御幸中学校中学2年生	55人
		芦城中学校中学2年生	171人
		安宅中学校中学2年生	48人
		国府中学校中学2年生	60人
		国府中学校保護者	40人
	丸内中学校保護者	45人	
小松市教頭会	中学校教頭	30人	

市 町	宝達志水町健康づくり推進室	職員	130人
	能登町	教員	40人
	羽咋市総務部総務課	職員	40人
	穴水町教育委員会	保護者(PTA)	60人
そ の 他	石川縣市町村職員研修所	新任課長補佐	9人
		新規採用職員	36人
		新任課長	40人
		新任係長	57人
	チャイルドライン	会員	20人
	金沢弁護士会	弁護士	40人

※「(3) 普及啓発 イ 講師を派遣した講演会」よりゲートキーパー養成関連を再掲

(イ) 若い世代のこころの健康づくり事業

高校生や専門学校生等を対象にした自殺予防のためのこころの健康教育、ゲートキーパー研修等を実施した。

実施日	対象	参加数
R1.5.23	金沢大学医学部 (学生)	100人
R1.6.17	総合看護専門学校 (学生)	40人
R1.9.27	富山大学 (学生)	107人
R1.10.1	中央高校 (学生：2年生)	70人

## エ 自殺未遂者へのケアと再発防止対策の構築

自殺未遂者の再企図を防止するために、自殺未遂者の心理面に配慮した対応の理解と普及を図るとともに、必要に応じて精神科医療や地域の支援につなぐための連携や体制の構築に向けて、研修会や事例検討会等を実施した。

### (ア) 救急告示医療機関職員等に対する研修会

自殺未遂者支援体制整備研修

実施予定日：令和2年2月28日（金） 18：30～21：00

(1)18：30～19：10 話題提供

「自殺未遂者支援の現状報告」

白山石川医療起業団体 公立松任中央病院 看護師 野崎 美子 氏

(2)19：20～21：00 講演及び質疑応答

「若者の自殺対策～東京都での活動と現状～」

講師 特定非営利活動法人 Light Ring.若者支援相談員 小幡 大仁 氏

※コロナウイルス感染症感染拡大のため中止

### (イ) 救急隊員に対する研修（技術支援）

実施機関	内 容	人数
消防学校	令和元年6月27日 「メンタルヘルス(サービスと勤務)」 対象者：消防新任職員	46人
	令和元年10月11日 「ハラスメント・メンタルヘルス」 対象者：救命救急士	20人
	令和元年11月7日 「惨事ストレス」 対象者：消防職員幹部	22人



## オ 遺族等へのケアと支援施策の充実強化

### (ア) 自死遺族交流会 (J 交流会)

家族を自死(自殺)で亡くした方達が、苦しい気持ちの語り合いや傾聴、互いを支え合う場として、平成18年11月より「自死遺族交流会」を開催している。

日 時：奇数月第1土曜日 14:00～16:00

場 所：金沢市内

回 数：6回

参加数：実12人 延べ31人

## (10) 子どもの心のケア推進事業

近年、ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題が社会的課題となっているが、子どもの心の問題の診療を担う医師が少なく、保護者はもとより保育所や学校等においてもその対応に苦慮している現状がある。

そこで、子どもの心の問題に対し、医療・教育・保健・福祉の各分野が同じ認識のもとで連携し、子どもの健全な発達への支援と、地域で安心して継続的な相談ができる体制の構築を目的として、平成20年度から「いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業」を開始し、平成24年度からは「子どもの心のケア推進事業」として事業を行っている。

### ア 子ども心のケア相談事業

電話や来所面接による個別相談を通じ、子どもの心の問題で悩む家族や関係者が安心して相談でき、的確な支援を受けられる機関を紹介するなどコーディネート機能を実施した。

#### (ア) 電話相談実績

表1 電話相談件数と相談者の内訳 (人)

年代	延件数	相談者内訳		
		父	母	その他 (**)
幼児	4	0	4	0
小学生	30	4	24	2
中学生	45	3	31	11
高校生	88	5	49	34
その他 (*)	12	1	9	2
総計	179	13	117	49

その他 (\*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

その他 (\*\*) : 本人、祖父母、学校等

表2 電話相談内容(延)

	発達上の 問題	不登校	ひきこもり	性格・行 動・暴力	家庭内の 問題	出産・育児	身体上の 悩み	摂食・性格・ 行動・対人 関係	依存関係	性・日常生 活等不安	病気の不安 等	精神障害者 への対応	情報提供・ その他	計
幼 児	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
小学生	5	9	1	1	0	0	0	7	3	1	2	0	1	30
中学生	3	20	0	4	1	0	0	6	2	5	1	0	3	45
高校生	8	35	0	5	2	0	0	10	5	7	11	2	3	88
その他	0	1	0	0	0	0	0	2	1	2	5	0	1	12
計	17	66	1	10	4	1	0	25	11	15	19	2	8	179

(イ) 来所相談

表3 来所相談件数と相談者内訳

(人)

年代	実件数	延件数	相談者内訳 (重複あり)			
			父	母	本人	その他(**)
幼 児	1	1	0	0	0	1
小学生	12	40	2	34	30	3
中学生	7	23	1	22	11	4
高校生	19	69	3	68	38	0
その他 (*)	0	0	0	0	0	0
総 計	39	133	6	124	79	8

その他 (\*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者、 その他 (\*\*) : 祖父母、学校等

表4 来所相談内容 (実件数内訳)

	発達上の 問題	不登校	ひきこもり	性格・行 動・暴力	家庭内の 問題	出産・育児	身体上の 悩み	摂食・性格・ 行動・対人 関係	依存関係	性・日常生 活等不安	病気の不安 等	精神障害者 への対応	情報提供・ その他	計
幼 児	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小学生	3	3	0	1	0	0	0	0	1	0	4	0	0	12
中学生	0	5	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7
高校生	2	7	0	1	1	0	0	6	1	0	1	0	0	19
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	15	0	2	2	0	0	8	2	0	5	0	0	39

表5 来所相談の経路（実件数内訳）

	直接	医療機関からの紹介	学校からの紹介	その他	年代別計
幼児	1	0	0	0	1
小学生	7	3	0	2	12
中学生	5	1	1	0	7
高校生	8	0	9	2	19
その他	0	0	0	0	0
計	21	4	10	4	39

その他（\*）：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

表6 来所相談の処遇状況及び他機関との連携状況（実件数内訳）

	対応について助言	継続面接	他機関へ紹介（病院等）	年代別計	他機関と連携（※再掲）
幼児	1	0	0	1	0
小学生	1	8	3	12	3
中学生	5	1	1	7	3
高校生	6	13	0	19	4
その他	0	0	0	0	0
計	13	22	4	39	10

その他（\*）：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

※再掲：医療機関・保健福祉センター・市町・学校・その他機関

## イ 子どもの心の支援者研修会

（ア）子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー

目的：医療、教育、保健、福祉等、子どもの心の問題に関する治療及び支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

参集者：子どもの心の問題に携わる医療・保健・教育・福祉等関係者

## 内 容：講演会及び事例検討会

### <1回目>

日時：令和1年8月28日（水）10:00～12:00

講師：一般社団法人・チャイルドフード・ラボ 代表理事

藤原 里美 （保育士・臨床発達心理士）

テーマ：「ちょっと気になる子へのかかわり方と保育と家族支援」

参加者数：64人

### <2回目>

日時：令和1年年10月2日（水）13:30～15:00

講師：一般社団法人日本家族計画協会家族計画研究センター及びクリニック所長

北村 邦夫 （産婦人科医師）

テーマ：「若者の性行動～ネット等のメディアリテラシー」

参加者数：42人

### <3回目>

日時：令和1年10月5日（土）13:30～15:00

講師：総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科部長

小平 雅基 （精神科医師）

テーマ：「子どもの強迫症～小さい事が気になるお子様の医療と支援について～」

参加者数：46人

### <4回目>

日時：令和1年11月17日（日）13:30～15:00

講師：独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター院長

樋口 進 （精神科医師）

テーマ：「子どもの成長とインターネットゲームの問題～最新の治療と対応～」

参加者数：72人

### <5回目>

日時：令和2年1月25日（土）1330～15:00

講師：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 岩永 竜一郎 （作業療法士）

テーマ：「発達障害の子どもや大人の感覚と

運動機能からくる生きづらさの理解と支援」

参加者数：73人

(イ) 発達障害等早期発見・早期支援関係者セミナー

目的：幼児・小学校低学年の発達障害等の支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

参集者：保育士・幼稚園教諭、小学校教諭、保健師等

a 講演会

<1回目>

日時：令和1年8月3日（土）13:00～16:00

・講演

講師：国立研究開発法人/国立成育医療研究センター

副院長/ こころの診療部統括部長 小枝 達也（小児科医）

テーマ：「発達障害の早期発見と修学後の支援」

・実践広告

講師：輪島市発達支援室

参加者数：43人

<2回目>

日時：令和1年8月4日（日）13:30～17:00

・ミニ講座

講師：県立高松病院 高田 省吾（精神科医）

テーマ：「発達障害対応能力向上研修報告」

・実践報告

講師：能美市健康福祉部健康推進課 保健師 秦 千佳

能美市子ども発達支援センター 臨床心理士 三宅 妙子

能美市子ども発達支援センター長 山岡 信夫

テーマ：「能美市の保健・福祉・教育の連携システムの構築と実践  
～乳幼児健診のその後～」

・講演

講師：国立研究開発法人/国立成育医療研究センター

副院長/ こころの診療部統括部長 小枝 達也（小児科医）

テーマ：「発達障害の早期発見と修学後の支援」

参加者数：58人

## ウ 子どもの心の支援事例検討会

目的：支援内容の検討及び情報共有により、子どもへの総合的な支援を実施し、子どもの心を診る専門医、専門家及び関係者の育成強化を図る。

### (ア) 未就学児等事例検討会

・開催回数：2回

#### 1回目

・助言者：国立研究開発法人/国立成育医療研究センター

副院長/ こころの診療部統括部長 小枝 達也（小児科医）

・参加者：子どもの心の問題に携わる医療・教育・保健・福祉関係者

25人

#### 2回目

・助言者：一般社団法人・チャイルドフード・ラボ 代表理事

藤原 里美（保育士・臨床発達心理士）

・参加者：子どもの心の問題に携わる医療・教育・保健・福祉関係者

・ 55人

### (イ) 児童・青年期事例検討会

・開催回数：4回

#### 1回目

・助言者：一般社団法人日本家族計画協会家族計画研究センター

及びクリニック所長北村 邦夫（産婦人科医師）

・参加者数：42人

#### 2回目

・助言者：総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科部長

小平 雅基（精神科医師）

・参加者数：46人

### 3回目

- ・助言者：独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター院長  
樋口 進（精神科医師）
- ・参加者数：72人

### 4回目

- ・助言者：大学大学院医歯薬学総合研究科教授  
岩永 竜一郎（作業療法士）
- ・参加者数：73人

## エ 中央で開催された高度な研修・会議への参加

### （ア）子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議（1回目）

日時：令和1年7月18日（木）

会場：東京都

### （イ）子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議（2回目）

日時：令和2年1月17日（金）

会場：東京都

## オ 普及啓発

子どもの心の問題に関する診療及び相談機関の情報を新たに収集し、小冊子「子どもの心の診療・相談機関情報ガイド（精神科・診療内科・小児科等標榜医療機関及び相談機関：平成29年3月発行）」を発刊し、周知を図っている。

また、子どもの心の診療ネットワーク事業中央拠点病院事務局（国立成育医療研究センターこころの診療部内）が作成する「子どもの心の診療機関MAP」に県内の精神科及び小児科の各医療機関の診療情報を掲載するため、各々の機関に協力依頼を行い、情報提供を行っている。



## (11) 精神障害者地域生活支援事業

精神科病院に長期にわたり入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば在宅生活が可能と見込まれる人、及び入院期間が1年未満の人であっても地域生活への支援を行わなければ社会的な入院の長期化が見込まれる人への退院促進を図る。

### ア ピアサポーターの養成研修会

長期入院患者等に対し、退院を促進し、地域での在宅生活に向けて仲間をサポートできるピアサポーターを養成するとともに、これまで養成したピアサポーターのフォローアップとして研修会を開催した。

日 時：令和元年8月30日（金）13:30～16:30

場 所：石川県こころの健康センター研修室

参加者：ピアサポーターの活動を希望する精神障害者、ピアサポーター、精神科病院・クリニック等が運営する相談支援事業所職員、精神科病院職員（退院後生活環境相談員、精神保健福祉士等）、地域体制整備コーディネーター、保健所職員等 53人

内 容：講義1 「ピアサポーターの基礎知識」

発表者：ピアサポーター 松田 茂喜 氏

講義2 「ピアサポーターを活用した地域移行の取り組み」

講師：大阪府立大学 人間システム科学研究科

准教授 三田 優子 氏

グループワーク 何が出来るか考えてみよう

(当事者と支援者それぞれの立場から話し合う)

### イ ピアサポーターの派遣

精神科病院、相談支援事業所と連携して、登録しているピアサポーターを派遣し、入院患者の地域生活への動機付けのための病院訪問や外出時の同行支援等を通じて退院促進を図った。

(ア) ピアサポーターの登録人数：1人

(イ) ピアサポーターの派遣回数及び人数

派遣内容等	回数	人数
医療機関への派遣	5回	15人
ピアサポーター養成研修	1回	1人

### 3 支援課（発達障害支援センター）業務

#### (1) 発達障害児(者)及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児(者)に関する相談全般で1～数回の相談で終了する「相談支援」、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して支援する「発達支援」、就労に関して支援する「就労支援」を行っている。

※支援は「相談支援」から始まり、支援計画を立てて、継続的支援である「発達支援」「就労支援」に切り替える。

表1 年齢別

年齢区分（歳）		0～3	4～6	7～12	13～15	16～18	19～	不明	合計
相談支援	実人員	19	24	76	45	27	272	142	605人
	延件数	24	30	136	75	46	651	147	1,109件
発達支援	実人員	31	123	39	8	12	38	0	251人
	延件数	510	1,878	461	44	178	448	0	3,519件

年齢区分（歳）		18歳未満	18歳以上	合計
就労支援	実人員	0	62	62人
	延件数	0	702	702件

表2 相談支援の主な相談内容

相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	230
現在の生活に関することや家庭で家族ができることを知りたい	413
利用できる制度について知りたい	54
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	250
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	63
進路や将来の生活に関する相談をしたい	51
対応困難な状況の改善について相談したい	32
今後の就労について相談したい	112
現在勤めている職場に関する相談をしたい	46
その他	346
合 計	1,597件

※相談時毎の相談内容を計上。複数チェックあり

表3 相談方法

区 分	来所	訪問	電話	その他	合計
相談支援	278	1	763	67	1,109件
発達支援	626	2,714	158	21	3,519件
就労支援	455	14	225	8	702件
合 計	1,359	2,729	1,146	96	5,330件

その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 障害種別

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
自 閉 症	8	6	0	14
アスペルガー症候群	14	2	1	17
広汎性発達障害	121	77	54	252
A D / H D	32	7	5	44
L D	2	0	0	2
そ の 他	40	22	1	63
不明（未診断含む）	388	137	1	526
合 計	605人	251人	62人	918人

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症スペクトラム障害含む

表5 相談者

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
本 人	505	1,839	544	2,888
保 護 者 ・ 親 族	471	1,627	75	2,173
保 育 所 ・ 幼 稚 園	2	0	0	2
小 学 校	0	8	0	8
中 学 校	0	0	0	0
高 等 学 校	3	0	0	3
特 別 支 援 学 校	1	0	0	1
専 門 学 校 ・ 短 大 ・ 大 学	2	0	0	2
市 町 教 育 委 員 会	1	1	0	2
市 町 保 健 セ ン タ ー	3	4	0	7
保 健 所	3	0	0	3
児 童 相 談 所	2	1	0	3
行 政	19	2	2	23
医 療 機 関	54	29	18	101
企 業	10	0	0	10
公 共 職 業 安 定 所	0	0	3	3
障 害 者 職 業 セ ン タ ー	1	0	9	10
地 域 若 者 サ ポ ー ト セ ン タ ー	0	0	0	0
障 害 者 就 業 ・ 生 活 支 援 セ ン タ ー	0	0	2	2
相 談 支 援 事 業 所	7	4	23	34
就 労 移 行 支 援 事 業 所	2	4	14	20
就 労 継 続 支 援 事 業 所	2	0	8	10
そ の 他	21	0	4	25
合 計	1,109 件	3,519 件	702 件	5,330 件

行政：保健所、市町保健センターを除く

表6 支援回数別実人員

区 分	1～10回	11回以上	合計
発達支援（実人員）	185	66	251人
就労支援（実人員）	40	22	62人

表7 支援期間別実人員

区 分	3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上	合計
発達支援（実人員）	28	15	29	179	251人
就労支援（実人員）	0	2	1	59	62人

## (2) 精神科医による相談事業

囑託の精神科医による相談を月1回実施している。相談後の支援としては、センターによる継続支援や、必要に応じて医療機関等への紹介を実施している。

### 相談事業結果

実 施 回 数		9回
来 所 実 人 員		12人
来 所 延 人 員		12人
年齢別	0 ～ 3 歳	0
	4 ～ 6 歳	0
	小 学 生	3
	中 学 生	0
	1 6 ～ 1 8 歳	0
	1 9 歳 ～	9
	合 計	12
診察結果	障 害 な し	0
	経過観察 (判定保留)	0
	自 閉 症	0
	アスペルガー症候群	0
	広汎性発達障害	10
	A D / H D	1
	知 的 障 害	0
	そ の 他	1
合 計	12	
支援内容	センターで継続支援	11
	医療機関紹介	0
	療育施設紹介	0
	その他の機関紹介	0
	他機関で管理中	1

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症スペクトラム障害含む

(参考)

### 年度別各支援件数の推移

年 度	相談支援	発達支援	就労支援	計
H27	1,745 (562)	4,423 (328)	1,365 (99)	7,533 (989)
H28	1,711 (593)	4,501 (343)	1,134 (88)	7,346 (1,024)
H29	1,288 (647)	4,168 (310)	1,184 (89)	6,640 (1,046)
H30	1,110 (590)	4,139 (297)	1,044 (78)	6,293 (965)
R 元	1,109 (605)	3,519 (251)	702 (62)	5,330 (918)

注：( ) は内数で実人員

### (3) 青年期グループ活動

平成 17 年 10 月より、週 1 回午前 10 時から午後 3 時まで、青年期の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
41 回	9 人	238 人	対人マナー、社会見学、ストレス解消法、調理実習等

### (4) 就労者グループ活動

平成 22 年 7 月より、月 1 回午後 7 時から 8 時半まで、就労者の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
11 回	7 人	32 人	談話会等

### (5) 親のつどい

平成 19 年 10 月より、月 1 回午後 1 時半から 3 時半まで、青年期にある当事者の保護者を対象として実施している。

平成 21 年 12 月より、月 1 回午前 10 時から 12 時まで、学齢期にある当事者の保護者を対象として実施している。

表 1 実施状況

区 分	実施回数	実人員 (家族)	延人員	内 容
青年期	11 回	6 組	34 人	ピアカウンセリング、話し合い等
学齢期	0 回	0 組	0 人	

### (6) 関係機関等との調整会議

表 1 開催状況

内容	発達障害 全般	療育	医療	教育	保健	福祉	就労	自立 支援	その他	合計
回数	3	6	1	2	3	11	3	3	2	34 回

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児（者）への関わり方等についての助言を実施している。

表1 対象機関及び支援内容

区 分		実支援施設数	延支援件数
対象機関	小 学 校	1	6
	中 学 校	1	6
	高 等 学 校	0	0
	特 別 支 援 学 校	0	0
	専 門 学 校 ・ 大 学	1	2
	市 町 教 育 委 員 会	2	12
	市 教 育 研 究 所	0	0
	障 害 者 職 業 セ ン タ ー	0	0
	相 談 支 援 事 業 所	2	2
	就 労 移 行 支 援 事 業 所	1	1
	若 者 サ ポ ー ト セ ン タ ー	0	0
	市 町	1	2
	放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス	1	3
	医 療 機 関	0	0
	保 健 福 祉 セ ン タ ー	0	0
	そ の 他 ( 企 業 等 )	5	5
合 計	13カ所	39件	
支援内容	障 害 特 性 の 理 解		3
	指 導 ・ 対 応 方 法 の 助 言		33
	心 理 査 定		0
	事 例 検 討		3
	研 修 会		0
	そ の 他		0
	合 計		39件

### (8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児(者)に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

区分	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	合計
実人員	0	3	1	2	17	23人
延件数	0	5	1	2	36	44件

表2 障害種別

区分	実支援人員
自閉症	0
アスペルガー症候群	1
広汎性発達障害	35
A D / H D	5
L D	0
その他	3
不明(未診断含む)	0
合計	44人

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症<sup>※</sup>外<sup>※</sup>障害含む

表3 会議テーマ

内容	開催回数
家庭生活	1
健康・医療	1
教育	6
福祉	1
療育支援	0
進路相談	2
自立支援	13
就労支援	19
その他	1
合計	44回



### (9) 普及啓発及び研修

発達障害児（者）の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

また、関係機関からの講演依頼について、講師を派遣している。

表1 研修会及び公開講演会の開催状況

研修名	令和元年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（3日間研修）
月日 場所	令和元年7月1日（月）10:00～15:30 金沢市ものづくり会館
内容	研修Ⅰ 講演「それぞれのライフステージでの発達障害受容 ～本人と家族を支える～」
講師	日本ポーターズ協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏
参加者	保健、福祉、医療、労働等 の関係機関での相談従事者 53人
月日 場所	令和元年8月7日（水）10:00～16:00 金沢市ものづくり会館
内容	研修Ⅱ 講演「それぞれのライフステージにおける発達障害支援～支援方法について学ぶ～」 演習（グループワーク）
講師	障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」支援職員、相談支援事業所「きずな」 相談支援専門員 主任 笠合 竜明 氏
参加者	保健、福祉、医療、労働等の関係機関での相談従事者 45人
月日 場所	令和元年9月6日（金）10:00～15:30 金沢市ものづくり会館
内容	研修Ⅲ ① 講演「就労支援機関での取り組み」 ② 講演「発達障害者をもつ人の就労と就労支援について」
講師	① 就労移行支援事業所リエゾン 所長 中山 肇 氏 ② 社会福祉法人 横浜やまびこの里 相談支援事業部 部長 志賀 利一 氏
参加者	保健、福祉、医療、労働等の関係機関での相談従事者 47人

研修名	令和元年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）
月日 場所	令和元年6月28日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	① 講義「発達障害者支援法について」 ② 講義「発達障害のある人への相談支援」 ③ 講義「発達障害とは」
講師	① 石川県障害保健福祉課 係主査 乙部 創 ② 発達障害者支援センターパース 統括課長 川畑 治代 氏 ③ やすもと医院 精神科医 安本 真由美 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 22人
月日 場所	令和元年9月30日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	講義「アセスメントツール研修（概論）」
講師	臨床心理士 滋野井 圓 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 22人
月日 場所	令和元年8月5日 白山市民交流センター
内容	講演「発達障害の包括的アセスメントと発達支援 ー心理検査および行動問題の観察アセスメントー」
講師	日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 12人 *アセスメントツール研修会を講義の一コマに
月日 場所	令和元年7月22日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	講義①「ライフステージ別の現状～幼児・学齢期～」 講義②「ライフステージ別の現状～思春期以降～」
講師	日本ポーターズ協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 22人
月日 場所	令和元年9月30日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	講義「就労関係支援機関の紹介および当事者の体験発表」
講師	就労移行支援事業所リエゾン 所長 中山 肇 氏 石川障害者職業センター 上席障害者職業カウンセラー 茂木 雅美 氏、当事者 1名
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 24人

月日 場所	令和元年10月29日 石川県庁
内容	講演「家族の視点からみた発達障害」
講師	信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授 精神科医 本田 秀夫 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 22人 *関係機関研修会を講義の一コマに
月日 場所	令和元年7月～令和元年9月 計5回 石川県発達障害支援センター
内容	実習① 当センターが実施している当事者グループ活動への参加
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計23人
月日 場所	令和元年10月～令和2年1月 計4回 石川県発達障害支援センター
内容	実習② 石川県発達障害支援センターの機能（個別相談）について ・個別相談の流れについて説明 ・ケースカンファレンスに参加、質疑や意見交換
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計22人
月日 場所	令和元年10月9日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	実習③ 当事者の声を聞く ・講演「トウジシャたちの当事者意識 # 生きづらさの言語化から見えてきた支援」
講師	大人の発達障害を明るく語る会 ここらぼ 代表 みつと 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 21人
月日 場所	令和元年11月28日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	実習④ 発達障害がある人の支援方法について学ぶ(講義、ロールプレイ等) ・実際の相談場面を疑似体験することで相談技術の向上をはかる
講師	障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」支援職員、相談支援事業所「きずな」 相談支援専門員 主任 笠合 竜明 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計22人

研修名	令和元年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（フォローアップ研修）
月日 場所	令和元年9月10日 10:00～12:00 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講義「発達障害と家族支援」
講師	鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学講座 教授 井上 雅彦 氏
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 13人
月日 場所	令和元年9月10日 13:00～16:00 石川県地場産業振興センター 新館 第10研修室
内容	情報交換会「県内における発達障害児者支援体制の現状と課題及び今後の可能性について話し合う」
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 12人
月日 場所	令和元年11月 計 2回 石川障害者職業センター、石川療育センター、金沢こども医療福祉センター、 金沢産業技術専門校ワークサポート科、アピタ金沢
内容	発達障害児者が利用できる社会資源施設の見学
講師	各施設職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 計 16人
月日 場所	令和元年12月～令和元年1月 計 4回 石川県発達障害支援センター
内容	事例検討会
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 計 14人

研修名	令和元年度アセスメントツール基礎研修
月日 場所	令和元年8月5日 白山市民交流センター
内容	講演「発達障害の包括的アセスメントと発達支援 —心理検査および行動問題の観察アセスメント—」
講師	日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志 氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員（135人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）受講者（12人） 受講者計 147人

研修名	令和元年度石川県発達障害者等相談支援従事者育成研修 フォローアップ研修公開講演会
月日 場所	令和元年9月10日 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講演「発達障害と家族支援」
講師	鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学講座 教授 井上 雅彦 氏
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 （13人） *フォローアップ研修の一コマを支援者向けに公開 県市町障害・防災担当課職員、相談支援事業所職員、移行支援事業所職員、 教員、医療関係者等、発達障害児者の相談支援に携わる職員 （124人） 受講者計 137人

研修名	令和元年度石川県発達障害支援センター関係機関研修会
月日 場所	令和元年10月29日 石川県庁
内容	講演「家族の視点からみた発達障害」
講師	信州大学医学部子どもこころの発達医学教室 教授 精神科医 本田 秀夫 氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員（82人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）受講者（22人） 受講者計 104人

研修名	令和元年度石川県発達障害者支援センター公開講演会
	令和2年3月14日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止

表2 講師を派遣した講演会及び研修会開催状況

日時	会場	内容	対象及び人数
平成31年4月10日	金沢市松ヶ枝福祉館	手をつなぐ親の会 勉強会	家族 12人
令和元年5月19日	地場産業振興センター	障害支援区分認定に係る医師意見書記載説明会	医療従事者 26人
令和元年6月3日	ワークサポート科	ワークサポート科講義	学生・保護者 17人
令和元年6月5日	発達障害支援センター	金沢工業大学臨床心理研修	大学生・教員 7人
令和元年6月7日	発達障害支援センター	精神保健医療福祉担当者研修会	保健福祉医療関係者 60人
令和元年6月20日	県庁	健やかふれあい保育事業の対象児童認定に係る判定会	対象児童 123人
令和元年7月16日	大原学園	発達障害に関する講義	教員 15人
令和元年8月6日	発達障害支援センター	石川県立金沢中央高校 視察見学	教員 7人
令和元年8月21日	発達障害支援センター	金城大学生インターンシップ講義	大学生 2人
令和元年8月30日	発達障害支援センター	金沢医科大学看護学部学生講義	大学生・教員 12人
令和元年10月9日	警察学校	警察学校警部補研修会	警察官 25人
令和元年10月23日	発達障害支援センター	星稜大学人間科学科学生講義	大学生 35人
令和元年11月29日	金沢地方裁判所	金沢地方裁判所職員研修	裁判所職員 28人
令和2年2月9日	ITビジネスプラザ 武蔵	地域で支える成人発達障害ピアサポートを考える会	家族・一般 30人

# Ⅲ 資 料

## 1 精神保健福祉相談状況(電話・来所・訪問)

### (1)相談区分別相談件数

区分		合計 (延)	老人精 神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健 康づくり	摂食障害	てんかん	その他
南加賀 保健福 祉セン ター	電話	2,195	29	1412	7	2	0	-	3	552	1	0	189
	来所(実66)	125	4	63	1	0	0	-	0	47	0	0	10
	訪問(実74)	177	4	100	0	0	0	-	0	53	0	0	20
石川中 央保健 福祉セン ター	電話	2,647	115	1534	52	0	5	-	63	463	0	0	415
	来所(実122)	213	8	83	3	0	1	-	10	99	0	0	9
	訪問(実96)	337	10	179	4	0	0	-	0	85	0	0	59
能登中 部保健 福祉セン ター	電話	1,266	46	552	67	0	0	-	110	302	0	3	186
	来所(実100)	267	7	82	6	0	0	-	26	99	2	2	43
	訪問(実62)	241	8	146	4	0	0	-	23	41	0	0	19
能登北 部保健 福祉セン ター	電話	864	21	625	38	0	8	-	12	39	17	2	102
	来所(実44)	90	4	44	12	0	3	-	11	4	5	0	7
	訪問(実23)	50	1	35	5	0	3	-	0	0	2	0	4
金沢市 福祉健 康セン ター	電話	4,159	66	1826	191	10	10	4	80	704	0	15	1253
	来所(実320)	477	12	139	20	0	2	0	6	210	0	7	81
	訪問(実186)	664	7	412	18	1	0	1	18	52	0	1	154
保健所 計	電話	11,131	277	5,949	355	12	23	4	268	2,060	18	20	2,145
	来所(実652)	1,172	35	411	42	0	6	0	53	459	7	9	150
	訪問(実441)	1,469	30	872	31	1	3	1	41	231	2	1	256
こころの 健康セン ター	電話	8,355	32	4,547	46	17	33	13	126	2,863	10	7	661
	来所(実279)	1,309	1	184	13	7	53	3	99	770	0	0	179
	訪問(実3)	30	0	2	0	0	0	0	0	27	0	0	1

## (2)年齢区分別相談件数

保健所		区分	合計	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	不明
南加賀保健福祉センター	電話 延		2,195	0	51	342	443	795	317	143	81	23
	来所 実		66	0	3	15	12	21	8	3	2	2
		延	125	0	4	33	16	31	12	21	6	2
	訪問 実		74	0	2	13	18	22	11	4	4	0
		延	177	0	2	28	29	65	26	14	13	0
石川中央保健福祉センター	電話 延		2,647	1	133	274	778	702	463	99	143	54
	来所 実		122	0	11	23	29	28	15	7	8	1
		延	213	0	13	29	83	42	29	8	8	1
	訪問 実		96	0	2	17	20	26	18	5	8	0
		延	337	0	3	54	71	98	60	21	30	0
能登中部保健福祉センター	電話 延		1,266	3	112	115	199	241	246	207	98	45
	来所 実		100	0	15	15	11	19	15	11	9	5
		延	267	0	29	51	36	45	23	65	13	5
	訪問 実		62	0	8	7	6	8	17	7	9	0
		延	241	0	25	33	42	33	66	28	14	0
能登北部保健福祉センター	電話 延		864	0	14	132	148	132	106	155	160	17
	来所 実		44	1	6	4	6	7	10	6	3	1
		延	90	1	11	8	10	17	29	10	3	1
	訪問 実		23	0	0	3	7	3	6	1	3	0
		延	50	0	0	11	10	5	18	2	4	0
金沢市福祉健康センター	電話 延		4,159	0	146	404	632	914	1,142	393	460	68
	来所 実		320	0	16	36	73	71	55	29	37	3
		延	477	0	16	54	108	90	104	47	55	3
	訪問 実		186	0	6	19	26	48	42	25	20	0
		延	664	0	21	53	60	174	185	78	93	0
保健所計	電話 延		11,131	4	456	1,267	2,200	2,784	2,274	997	942	207
	来所 実		652	1	51	93	131	146	103	56	59	12
		延	1,172	1	73	175	253	225	197	151	85	12
	訪問 実		441	0	18	59	77	107	94	42	44	0
		延	1,469	0	51	179	212	375	355	143	154	0
こころの健康センター	電話 延		8,355	15	147	442	1,552	1,871	2,536	443	78	1,271
	来所 実		279	4	43	89	71	25	36	6	4	1
		延	1,309	28	129	481	442	91	108	22	6	2
	訪問 実		3	0	0	0	1	0	0	0	2	0
		延	30	0	0	3	15	0	1	0	11	0



(3) 診断区別相談件数

区分		合計	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明
南加賀保健福祉センター	来所 実	66	0	2	13	14	4	0	0	2	3	0	0	0	3	25
	延	125	0	2	35	21	5	0	0	2	5	0	0	0	7	48
	訪問 実	74	1	1	22	19	5	0	0	7	5	0	0	0	0	14
	延	177	3	1	69	39	6	0	0	11	21	0	0	0	0	27
石川中央保健福祉センター	来所 実	122	0	3	11	20	1	0	0	0	4	0	1	2	71	9
	延	213	0	3	30	23	1	0	0	0	6	0	11	2	125	12
	訪問 実	96	0	2	22	20	3	0	0	2	5	0	1	0	37	4
	延	337	0	14	88	71	12	0	0	3	17	0	1	0	111	20
能登中部保健福祉センター	来所 実	100	2	3	26	6	3	1	1	1	8	3	1	0	0	45
	延	267	3	6	66	33	5	2	2	1	16	13	2	0	0	118
	訪問 実	62	2	2	24	5	1	0	1	0	3	0	0	0	0	24
	延	241	3	2	142	5	5	0	1	0	22	0	0	0	0	61
能登北部保健福祉センター	来所 実	44	3	4	14	4	0	0	1	0	7	0	0	1	0	10
	延	90	4	14	33	8	0	0	1	0	13	0	0	1	0	16
	訪問 実	23	0	4	11	5	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
	延	50	0	9	26	10	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2
金沢市福祉健康センター	来所 実	320	5	9	37	43	14	0	3	5	18	2	5	9	2	168
	延	477	8	11	63	60	27	0	4	5	41	3	9	12	4	230
	訪問 実	186	5	13	72	26	11	0	4	6	14	1	1	1	0	32
	延	664	13	30	321	78	41	0	12	21	66	2	1	1	0	78
保健所計	来所 実	652	10	21	101	87	22	1	5	8	40	5	7	12	76	257
	延	1,172	15	36	227	145	38	2	7	8	81	16	22	15	136	424
	訪問 実	441	8	22	151	75	20	0	6	15	27	1	2	1	38	75
	延	1,469	19	56	646	203	64	0	14	35	126	2	2	1	113	188
こころの健康センター	来所 実	279	2	7	13	33	14	0	4	0	21	0	0	1	35	149
	延	1,309	2	11	43	215	56	0	33	9	124	0	0	1	152	663
	訪問 実	3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	延	30	0	0	2	10	1	0	0	2	4	0	0	0	0	11

※診断名はICD10に準ずる

※こころの健康センターの「その他」は異常なし、非定型精神病、ナルコレプシーを含む

## (4) 自殺・ひきこもり区分別相談件数(再掲)

保健所	区分	自殺	ひきこもり						合計
			10代	20代	30代	40代	50代以上	不明	
南加賀保健福祉センター	電話	117	6	68	40	28	11	0	153
	来所 実	0	0	6	4	3	1	0	14
	延	0	0	20	7	5	1	0	33
	訪問 実	3	0	2	3	2	1	0	8
	延	7	0	3	6	8	1	0	18
石川中央保健福祉センター	電話	269	25	74	66	44	59	16	284
	来所 実	6	2	6	6	3	5	1	23
	延	10	3	6	47	4	8	1	69
	訪問 実	11	1	6	4	2	4	1	18
	訪問 延	32	1	29	11	9	19	3	72
能登中部保健福祉センター	電話	10	50	51	47	51	55	0	254
	来所 実	2	7	8	5	6	5	0	31
	延	9	10	42	19	15	7	0	93
	訪問 実	0	5	4	3	3	4	0	19
	訪問 延	0	16	17	5	7	24	0	69
能登北部保健福祉センター	電話	51	5	5	13	1	13	2	39
	来所 実	1	3	1	1	0	1	0	6
	延	3	3	1	1	0	2	0	7
	訪問 実	3	0	0	0	0	2	1	3
	訪問 延	3	0	0	0	0	5	2	7
金沢市福祉健康センター	電話	494	19	158	74	53	22	0	326
	来所 実	18	5	13	15	11	5	1	50
	延	36	5	26	30	16	8	1	86
	訪問 実	19	1	4	4	5	0	0	14
	延	43	8	9	8	20	1	0	46
保健所計	電話	941	105	356	240	177	160	18	1056
	来所 実	27	17	34	31	23	17	2	124
	延	58	21	95	104	40	26	2	288
	訪問 実	36	7	16	14	12	11	2	62
	延	85	25	58	30	44	50	5	212
こころの健康センター	電話	109	4	24	76	9	5	12	130
	来所 実	11	0	12	9	0	2	0	23
	延	110	0	343	233	13	8	0	597
	訪問 実	0	0	2	1	0	0	0	3
	延	0	0	3	1	0	0	0	4

## 2 普及啓発活動

保健所	区分	講演会、自殺予防連携会議			ゲートキーパー養成等事業及び若い世代の心の健康作り事業				
		人数	主なテーマ	対象	回数	人数	内容	対象	
南加賀保健福祉センター		1	36	自殺防止対策地域連絡会	行政、医療、福祉機関、各種団体	1	19	ゲートキーパー養成研修	大同工業新入社員
						3	12	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(金沢大学)
						1	4	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(金沢医科大)
						1	50	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(小松大学)
						1	18	SOSの出し方に関する教育	橋立中学校
		1	132	SOSの出し方に関する教育	錦城中学校				
石川中央保健福祉センター		1	11	自殺対策連絡会	管内の市町精神保健福祉担当者	1	120	ゲートキーパー講座	一般住民
						1	16	ゲートキーパー講座	白山市メンタルヘルスサポーター
						1	11	ゲートキーパー講座	NPO法人ブーブ職員
						1	34	ゲートキーパー講座	県立看護大実習生
						1	18	ゲートキーパー講座	金沢医科大実習生
						1	14	ゲートキーパー講座	金大、北陸学院大実習生
						1	140	ゲートキーパー講座	県立大学生
		1	1	ゲートキーパー講座	研修医				
能登中部保健福祉センター						1	9	メンタルヘルス研修(内容にGP含む)	丸井織物(株)若年層社員
						1	17	ゲートキーパー養成研修	羽咋理容生活衛生同業組合
						1	39	精神保健の授業において(GPになろう)	七尾看護学校2年生
能登北部保健福祉センター		1	41	能登北部圏域自殺対策研修会	医療機関、市町保健担当福祉担当、包括支援センター、消防署、警察署、奥能登教育事務所、市町教育委員会、高等学校、労働基準監督署、ハローワーク、生活困窮者支援窓口、相談支援事業所	2	76	ゲートキーパー養成講座	輪島市職員
						1	6	ゲートキーパー養成講座	奥能登works職員
金沢市福祉健康センター		1				1	50	メンタルヘルス研修	市職員
						1	269	ひきこもり講演会/交流会	本人・家族・市民活動団体
						1	56	こころの健康づくり研修会	包括支援センター、民生委員
						1	25	こころの健康づくり研修会	長町・長土堀地区住民
						1	24	メンタルヘルス研修	健康づくり応援団企業
						1	37	こころの健康づくり研修会	伏見台地区住民
						1	14	こころの健康づくり研修会	金沢地方気象台
						1	17	いずみの健康講座	一般市民
						1	50	ゲートキーパー研修	大学生
						1	35	地区主催運動教室	千坂地区住民
						1	20	ゲートキーパー研修	市職員
						1	39	ゲートキーパー研修	大学生
						1	2	ゲートキーパー研修会	鳴和中学校学生
						1	50	メンタルヘルス研修	市職員
						1	36	ゲートキーパー研修	大学生
						1	16	ゲートキーパー研修	大学生
						1	10	ゲートキーパー研修	事業所職員
1	56	こころの健康づくり講座	包括支援センター、民生委員等						
1	4	ゲートキーパー研修	大学生						
1	25	こころの健康づくり研修会	長町・長土堀地区住民						
1	24	メンタルヘルス研修	健康づくり応援団企業						
1	4	ゲートキーパー研修会	金沢医科大学看護学生						
1	34	ゲートキーパー研修	市職員						
1	37	ゲートキーパー研修	地区住民						
1	32	かがやき発信講座	瓢箪地区住民						
1	14	こころの健康づくり講座	金沢地方気象台						
1	230	かがやき発信講座	星稜大学経済学部						
1	17	ゲートキーパー研修	西南部地区住民						
1	24	メンタルヘルスポランティア	ボランティア大学校						
1	250	かがやき発信講座	星稜大学経済学部						
1	52	かがやき発信講座	地区公民館主事研修会						

保健所	自殺予防普及啓発事業(街頭キャンペーン、ラジオ、広報等)	
	回数	
南加賀保健福祉センター	5	街頭キャンペーン(加賀、小松、能美、川北)
石川中央保健福祉センター	5	街頭キャンペーン(白山、野々市、内灘、津幡、かほく)
	6	(FMかほく)メンタルヘルスについて等
	2	(FMNI)メンタルヘルスについて等
能登中部保健福祉センター	2	街頭キャンペーン(七尾、羽咋)
	2	(ラジオななお)自殺対策強化月間について等
能登北部保健福祉センター	3	街頭キャンペーン(穴水、珠洲)
	2	能登北部保健福祉センターのホームページに掲載
金沢市福祉健康センター	3	街頭キャンペーン
	1	(Facebook)自殺対策強化月間
	4	(ラジオ)こころの健康づくり、自殺対策強化月間等

### 3 関係機関・団体との連携

保健所	機関名	支援内容	回数
南加賀保健福祉センター	小松市	精神障がい者等地域生活支援研究会	1
	小松市	小松市福祉つながりネットワーク	1
	小松市	小松市くらし安心ネットワーク協議会いのちと心の部会	2
	小松市	小松市くらし安心ネットワーク協議会DV対策部会	2
	小松市	生活困窮者自立支援調整会議	1
	小松市	精神事例検討会	6
	加賀市	じりつ支援協議会・障がい福祉全大会	2
	加賀市	地域移行支援に係る会議	2
	加賀市	加賀市庁内外自殺対策連絡会	1
	加賀市	精神事例検討会	6
	能美市	能美市虐待防止協議会DV対策部会	1
	能美市	自殺防止対策連絡協議会	1
	能美市	精神事例検討会	2
	金沢保護観察所	医療観察法対象者の支援体制について	1
	小松・能美メンタルヘルスボランティア友の会	行事等へのサポート	1
	石川中央保健福祉センター	金沢市	精神障害者地域生活支援事業企画会議
金沢市		精神障害者地域生活支援事業連絡会	1
白山市		共生の街づくり推進協議会 すまい部会・宅建協会との情報交換会	8
白山市		障害者差別解消のまちづくり支援協議会	2
白山市		地域移行・地域定着支援会議	3
白山市		精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに関する研修会	1
白山市		地域生活支援拠点等の整備に関する研修会	1
白山市		ケア会議	11
野々市市		障害者自立支援協議会	1
野々市市		虐待防止等協議会	1
野々市市		自殺対策協議会	1
野々市市		ケア会議	1
かほく市		自立支援協議会 運営会議	3
かほく市		地域包括ケアシステムの構築準備会	5
かほく市		高齢者及び障害者虐待防止協議会	1
かほく市		介護支援専門員及び施設管理者連絡会	1
かほく市		自殺対策推進委員会	1
津幡町		自立支援協議会 運営会議	2
津幡町		自立支援協議会 全体会	2
津幡町		ケア会議	2
津幡町		地域づくり研修会	1
内灘町		自立支援協議会 全体会	2
内灘町		高齢者虐待防止検討会	1
高松病院		アルコール関連問題地域連絡会	1
金沢保護観察所		ケア会議	14
金沢保護観察所		薬物依存対象者地域支援連絡協議会	1
家族会(ちよに会)		総会・役員会	5
家族会(石家連)		精神障害者家族会と病院長等との懇談会	1
病院		ケア会議	33
社会福祉協議会		ケア会議	6
相談支援事業所		ケア会議	4
その他関係機関		ケア会議	5
公立松任石川中央病院		自傷行為・自殺未遂者支援のための連携事業についての連絡会	1
松原病院・城北病院	MJカンファレンス	4	

保健所	機関名	支援内容	回数
能登中部保健福祉センター	七尾市・中能登町	七尾市・中能登町地域自立支援協議会	8
	羽咋郡・市	羽咋郡市障害者自立支援協議会	6
	金沢保護観察所	医療観察対象者のケア会議、同行訪問	27
	七尾市	事例検討会	3
	志賀町	事例検討会	1
	相談支援事業所	事例検討会	3
	七尾市	同行訪問	9
	羽咋市	同行訪問	7
	志賀町	同行訪問	2
	相談支援事業所	同行訪問	23
	訪問看護	同行訪問	23
	みそぎ会	総会	2
	心明会	総会	1
	能登中部圏域家族交流会	連絡会、講演会	5
	警察	同行訪問	6
	七尾松原病院	同行訪問	1
	公立能登総合病院	事例検討会	4
	高松病院	事例検討会	3
	松原病院	事例検討会	1
	学校	事例検討会	5
	メンタルヘルスポランティア	花の会(総会、定例会等)、県メンタルヘルスポランティア連絡協議会	6
能登北部保健福祉センター	奥能登地域自立支援協議会	全体会	1
	奥能登地域自立支援協議会	専門部会「啓発部会 研修分会」	9
	輪島市	奥能登地域自立支援協議会 輪島市連絡会	3
		ケース会議	4
		同行訪問	16
	珠洲市	奥能登地域自立支援協議会 珠洲市連絡会	1
		ケース会議	1
		同行訪問	2
	穴水町	奥能登地域自立支援協議会 穴水町連絡会	1
		ケース会議	1
		同行訪問	1
	能登町	奥能登地域自立支援協議会 能登町連絡会	1
		能登町自殺対策推進連絡会	1
		ケース会議	2
		同行訪問	1
	輪島市社会福祉協議会	ケース会議	1
		同行訪問	3
	県立高松病院	ケア会議	3
	七尾松原病院	ケア会議	3
	公立能登総合病院精神センター	ケア会議	4
相談支援ピアサポート北のと	ケア会議	5	
生活支援Beネット日本海倶楽部	ケア会議	2	
長寿圏居宅介護	ケア会議	1	
訪問看護	同行訪問	2	
介護関係機関	同行訪問	2	

保健所	機関名	支援内容	回数
金沢市福祉健康センター	医療機関、地域包括支援センター	ケース会議	36
	医療機関	措置入院患者の地域生活に向けての連携会議	12
	医療機関	アウトリーチに関する連携会議	12
	福祉健康センター	事例検討会	3
	医療機関 福祉等	自立支援協議会事務局会議	3
	関係機関・団体 警察等	自殺防止対策に関する連絡会	1
	医療 福祉 自治体等	精神障害者地域生活支援事業連絡会	2
	保健所 福祉等	精神障害者地域生活支援事業連絡会の企画会	2
	石川県	精神保健福祉事業担当者連絡会	1
	石川県	精神障害者地域生活支援事業担当者連絡会	1
	石川県	地域生活支援連携会議	1
	石川県	自殺対策担当者連絡会	1
	石川県	精神科救急体制整備事業担当者連絡会	1
	石川県	県民相談相互支援ネットワーク会議	1
	家族会 医療 保健所等	精神障害者家族会と病院長との懇談会	1
	医療 自治体 支援団体等	薬物依存対象者地域支援連絡協議会	1
	医療 福祉 支援団体等	金沢市高齢者・障害者虐待防止連絡会	1
	石川県 警察	警察官通報に関する連絡会	3
	家族会等	総会・定例会における健康管理等への支援 組織育成	8
	ひきこもり支援団体	連携体制の構築	1
	ボランティアグループ等	ボランティア育成支援、ひきこもり長期化防止事業委託	6
	事業所	健康教育の実施(衛生管理、感染症予防、生活習慣病予防)	3
	もとまちカフェ	市民活動団体のネットワーク構築・交流、ポータルサイト開設周知	1
	市民活動団体	情報提供、他団体との連携への支援	18
	医療機関、保護観察所等	ケア会議	57
	ハローワーク	金沢障害者雇用連絡会議	1
	金沢市役所相談窓口担当課	自殺防止対策庁内相談担当者連絡会	1
金沢保護観察所	石川県医療観察制度運営連絡協議会	1	

## 4 集団活動

### (1) 当事者活動

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	4	2	4	ひきこもり社会参加復帰事業(社会復帰支援教室) 調理、散策スポーツ、手工芸等
石川中央保健福祉センター				
能登中部保健福祉センター	12	3	31	
能登北部保健福祉センター	11	1	11	
金沢市福祉健康センター				

### (2) 家族教室

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	1	31	31	ひきこもり家族教室
	1	14	14	うつ病家族教室
	1	6	6	アルコール依存症家族教室
石川中央保健福祉センター	2	30	30	うつ病家族教室
	1	12	12	アルコール依存症家族教室
	17	33	81	ひきこもり家族教室
能登中部保健福祉センター	12		16	ひきこもり家族交流会
	1	21	5	ひきこもり家族教室
	1		18	講演会「ひきこもりの方と暮らすご家族のライフプラン」
	1	4	4	アルコール依存症からの回復の道のり
	1	4	4	うつ病の理解と家族のかかわり
能登北部保健福祉センター	1	-	6	個別相談会
	2	19	20	ひきこもり家族教室
金沢市福祉健康センター				

※メンタルヘルス講座は削除



## 5 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧

(ビデオテープ (VHS方式)・DVD含む)

(令和2年3月現在)

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
児 童	2101	SOSからの笑顔へ ～いじめ登校拒否から自立を待つ～	60分	小・中 高・一	ビデオ	登校拒否の生徒を立ち直らせた事例の紹介
	2102 ～ 2106	子育てたまご (1) ～ (5)	各 60	一般	ビデオ	0歳～小学生の子供について、親子・育児・あそび・食事などテーマ別に描いた家庭教育ビデオ
	2107	よい子のため息S・O・S	30	母親	ビデオ	子どものため息をついでいる。(悩んでいる)
	2108	いじめ	30	中高生	ビデオ	先生は動いてくれなかった。先生は信じてくれない。仲間はずれが一番つらい。
	2109	あなたの心、元気ですか！	20	一般	ビデオ	高校生及び、心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考え、学ぶことを目的としたビデオ。
	2110	夢はお母さんと二人つきり	32	母親	ビデオ	幼児は、妹や弟が出来ると母親を独占したいと思うようになる。
	2111	子育てに自信をなくしているあなたへ	15	育児者	ビデオ	育児の悩みの解消策について。
	2112	子ども虐待防止対策ビデオ 「MCGとは何か」	15	母親	ビデオ	MCGとは東京都世田谷区の取り組みで、母と子の関係を考える会(グループミーティング)のこと
	2113	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディア DAISY 書籍 CD 1	284	児童	DVD	「ゴーゴーもるもくん」「恐竜あいうえお」「まちをつくるじどうしゃ」他5編
	2114	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディア DAISY 書籍 CD 3	336	児童	DVD	日本の昔話17編、他2編
	2115	「交通事故で家族を亡くした子どもの 支援」に関するシンポジウム基調講演 子どもと死 ―その理解と支援―	52	一般	DVD	制作・著作：内閣府 講師：武蔵野大学人間科学部 教授 藤村和美
こ こ ろ の 健 康	2201	職場ストレスと健康 第1集 ストレスとは	16	一般	ビデオ	ストレスとは、人間の心と体に対して外部からの社会的・精神的・肉体的刺激が加わり、心身にマイナスが生じた状態。
	2202	職場ストレスと健康 第2集 職場ストレス	18	一般	ビデオ	複雑な人間関係や過剰な残業により、神経症やうつ状態に陥る人が増えた。
	2203	職場ストレスと健康 第3集 職場ストレスと健康防衛	19	一般	ビデオ	ストレス症候群に対するには、ストレスの防衛を考える。
	2204	小比木敬吾による症例分析	30	一般	ビデオ	慶應義塾大学医学部精神神経科助教授、小比木敬吾氏の講演。(メンタルヘルスを各職場、企業の中で実践する方法について)
	2205	セルフコントロール医学への道	58	一般	ビデオ	東大医学部分院心療内科長、石川・中氏の講演。(患者自身が、病理について熟知し、自分で自分の心身をセルフコントロール出来るようにする)
	2206	うつの時代	30	一般	ビデオ	日本精神病院協会会長、斉藤茂太氏のうつに関する講演会。
	2208	現代人のメンタルヘルス (心の病気)	29	一般	ビデオ	神経症・心身症・精神分裂病・うつ病・そう病・アルコール依存症などが一般的。
	2209	管理・監督者のための ストレスマネジメント	40	管理者	ビデオ	管理者として部下のストレス対策は、どうあるべきか。
	2210	中・高年期の精神保健	23	一般	ビデオ	65歳以上の老人の2割程度が、何らかの心の病気を持っている。老人の心の病気を説明。
	2211	その場でできるやさしい疲労回復法健康 ストレッチング	20	一般	ビデオ	デスクワークの人達のために、ストレッチングを中心として様々な疲労回復方法を教示する。
	2212	災害と心のケア	42	一般	ビデオ	災害等の非常時に遭遇した時に、心的障害に対してどのように対処すべきか。
	2213	開く-かける-つなぐ～精神保健ボラン ティア～いっしょにいこうよ～	39	一般	ビデオ	いろいろな精神保健ボランティアを紹介すると共にその大切さを訴える。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
こ こ ろ の 健 康	2214	開く-かける-つなぐ ～精神保健ボラン ティアもつとちかくに～	43	一般	ビデオ	作業所等にボランティアが集う。
	2215	おかえり	99	一般	ビデオ	新婚の妻が幻覚妄想状態になったが、治療を拒む妻 の要求を受け入れた夫が一晚の入院で退院させるこ とになる映画。
	2216	小さなほほえみのために ～乳幼児突然死症候群 SIDS から赤ち ゃんを守る～	5分	一般	ビデオ	2千人に1人の割合で死亡者が発生。眠っている間 に死ぬ。1歳未満の赤ちゃん。
	2217 -1	企業戦士のメンタルヘルス ①五月病症候群	20	一般	ビデオ	五月病は学生は受験後、新社会人は社内研修が終わ った後等の環境にうまく順応出来ない人(まじめな人、 過保護の人、交際相手の少ない人等)が危ない。
	2217 -2	企業戦士のメンタルヘルス ②出社拒否症候群	20	一般	ビデオ	ア心身症イ軽症うつ症ウ無気力症エずる休み型に 分類され、ア及びイのタイプが断然多い。
	2217 -3	企業戦士のメンタルヘルス ③燃えつき症候群	20	一般	ビデオ	無気力になる。仕事熱心、有能な人、几帳面な人、 ゆとりや融通性に欠ける人が危ない。
	2217 -4	企業戦士のメンタルヘルス ④帰宅恐怖症候群	16	一般	ビデオ	家へ帰りたくても、家庭に父親の存在場所が 無いため帰れない。クリニックへ駆け込み寺 のように駆け込んでくる。妻の言動の影響が 大きい
	2217 -5	企業戦士のメンタルヘルス ⑤スーパーウーマン症候群	20	一般	ビデオ	スーパーウーマン症候群とは、スーパーウ ーマンになろうとして起きてくるストレス精神 障害①職場の第一人者②妻として充実した家 庭③母親としての子育て等を望む。
	2218	根絶！夫からの暴力 あなたは悩んでいませんか？	27	一般	ビデオ	平成13年4月に配偶者からの暴力の防止及 び被害者の保護に関する法律が施行された。
	2219	心だつて風邪を引く ～メンタル ヘルス対策を進めよう！～	41	一般	ビデオ	平成12年8月に、労働者から発表された事 業場における労働者のこころの健康づくりの ために指針について。
	2220	ドメスティックバイオレンス犯罪で す	20	一般	ビデオ	日本各地に駆け込みシェルターがある。
	2221	再出発へのサポート ～女のスペース・駆け込みシェル ターの現場から～	18	一般	ビデオ	DV から逃れてくる女性達の駆け込みシェル ターの現状と問題点を描く。
	2222	米国東海岸の挑戦 前編	23	一般	ビデオ	ボストン・ケンブリッジをはじめとする米国 東海岸地域におけるドメスティックの被害者 へのサポート。
	2223	米国東海岸の挑戦 後編	21	一般	ビデオ	マサチューセッツ州における、加害者への対 象は進んでいる。ある被害者女性へのサポー ト状況を紹介。
	2224	ひきこもる心と向き合うには	73	一般	ビデオ	ひきこもりの子供を持つ家族の心構えについ て。
	2225	あなたの心元気ですか！	19	高校生	ビデオ	多感な時期にある高校生が心の病を理解し、 どのように対処するかの工夫を考える、学ぶ ために制作された。
	2226	ストーカー対策 女性が身を守るために	30	女性 一般	ビデオ	ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者にな る犯罪事例をドラマ再現し、対策を解説。
	2227	なくせ！ストーカー！ 心の闇に潜むもの	40	女性 一般	ビデオ	ドラマを用い、ストーカー犯罪をわかりやす く解説。ストーカー被害に遭わないようにし
	2228	映像版・いいかげんに生きよう	22	一般	ビデオ	摂食障害者の自助グループNABA 活動編。
	2231	こころの傷に寄り添って	31	一般	ビデオ	災害・被害のトラウマとこころのケア
	2232	広がる子どものうつ病	40	一般	ビデオ	
	2233	自助グループ活動の進め方	30	一般	ビデオ	交通事故被害者遺族の自助グループ支援 ビデオ
	2234	自殺対策マニュアル		一般	DVD	地域や職場等の現場で自殺対策に取り組む従 事者のために
2235	統合失調症の人の回復力を高める ①回復力を高める接し方	95	一般	DVD	統合失調症の症状、治療、再発予防について 基本的な講義	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
こころの健康	2236	統合失調症の人の回復力を高める ②ドラマで学ぶ回復力を高める会話	85	一般	DVD	ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ
	2237	統合失調症の人の回復力を高める ③家族の SST の進め方	45	一般	DVD	病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。
	2238	こころの病気を学ぶ授業 ～統合失調症～		一般	DVD	2008 年普及活動及び授業実施報告
	2239	眠れなくなった父さんピツジ	30 分	一般	DVD	うつ病の人の 94%に「睡眠障害」があると報告されています。
	2240	こころのサインに気づいたら ～悩んでいる人にあなたができること～	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2241	こころのサインに気づいたら ～悩んでいる人との向き合い方について～	172	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2242	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2243	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (被災地対応編)	152	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2244	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (講義編・資料編)	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2245	スッキリ睡眠でイキイキと	36	一般	DVD	睡眠の基礎知識について。
	2246	睡眠保健指導 No. 1	23	保健指導者	DVD	睡眠保健指導の意義と重要性について。
	2247	睡眠保健指導 No. 2	25	保健指導者	DVD	睡眠保健指導の具体的な方法について。
	2248	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (地域対応編・心得編)	144	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2249	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第 1 巻 うつ病って何だろう	70	一般	DVD	うつ病と付き合いっていくために知っておきたい大切な事柄について。
	2250	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第 2 巻 うつと生きる	104	一般	DVD	うつとともに生きてきたある会社員の 17 年間の葛藤の軌跡。
	2251	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第 3 巻 ふたたび職場へ	82	一般	DVD	神奈川県川崎市にある武田病院のリワークプログラムを紹介。
	2252	平成 19 年度 いしかわ夢広場 3		児童	DVD	平成 19 年度に放送した「心の教育」ラジオ広報番組「いしかわ夢広場」の中から、子どもたちに親しみやすいお話を 6 編収録。
	2253	2012 年 世界精神保健デー うつ病：世界的危機		一般	DVD	
	2254	スポーツ祭東京 2013 精神障害者 フットサル		一般	DVD	精神障害者のフットサル大会。
	2255	石川県ゲートキーパーDVD かけがえのない命をまもるために あなたもゲートキーパー	18	一般	DVD	ゲートキーパーの役割について。
	2256	うつ病者の社会的支援のための客観的指標・運動プログラムの開発～医療モデルからソーシャルモデルへ～	39	専門職	DVD	立教大学コミュニティ福祉研究所の研究記録。
	2257	ひきこもりからの回復 全三巻	236	一般	DVD	「ひきこもり」の理解と回復の支援について
老人精神保健	2301	花いちもんめ	127	一般	ビデオ	老人性アルツハイマー型痴呆症の男性に振り回される家族と親族の苦悩を描いた映画。
	2302	ぼけのお年寄り介護	22	一般	ビデオ	高齢化社会の到来を見越し、ぼけのお年寄り介護の方法が真剣に探し求められている。
	2303	痴呆性老人の介護者のために ～心の旅路～	77	一般	ビデオ	在宅老人（一人暮らし）に対する訪問看護の仕方について。
	2304 ～ 2305	痴呆性老人の介護 (1) (2)	各 20	一般	ビデオ	痴呆性老人の特徴（症状）とそのかわりについて解説。
	2306	痴呆性老人の在宅介護！ ～ぼけの病状に対応するために～	24	一般	ビデオ	ぼけの老人に対する在宅介護の仕方について。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
老人精神保健	2307	痴呆性老人の在宅介護！ ～ボケのお年寄りの正しい理解のために～	25	一般	ビデオ	千葉市にある稲毛ホワイエの紹介。(週3日、昼間の間、ボランティアの人達がボケのお年寄りの世話をする施設)
	2308	痴呆性老人の家庭介護！！ ～痴呆の理解とサービス～	32	一般	ビデオ	痴呆とはどのようなものかを教示すると共に、痴呆性老人の家庭介護方法を教える。
	2309	痴呆性老人の家庭介護！！ ～家庭介護の実際～	28	一般	ビデオ	家庭介護の基本的な心構えを、3人の体験者談を参考にまとめた。
	2310	心がうごけば身体も動く(上)	23	一般	ビデオ	楽しくリハビリに取り組む老人の姿を描いたもの。どうしても自分の足で立ってみたい！
	2311	雪見橋は行く	25	一般	ビデオ	岩手県の豪雪地帯にある二つの村の老人医療面での画期的な成果を描いたもの。
	2312	熟年の季節	60	一般	ビデオ	
	2313	パッチンして！おばあちゃん	90分	一般	ビデオ	
	2314	もし痴呆が起きたらアルツハイマー型 老年痴呆の介護編	23	一般	ビデオ	アルツハイマー型痴呆老人に対する介護の仕方について。
	2415	ひとりぼっちをなくそう	40	一般	ビデオ	精神障害者本人の会の紹介
	2316	おとしよりの介護「第8巻」	37	一般	ビデオ	痴呆性老人の問題行動と予防のてだてについて説明。
	2317	人は薬 痴呆性老人と介護のコツ	25	一般	ビデオ	痴呆性老人に対する介護の仕方について。
	2318	老いを楽しく美しく	25	一般	ビデオ	
2320	2013年 世界精神保健デー 高齢者のメンタルヘルス		一般	DVD		
精神保健	2401	君は空の青さを知っているか	24	一般	ビデオ	神奈川県における各作業所の取り組みを描いたもの。
	2403	150万人の訴え	29	一般	ビデオ	全国で150万人の精神障害者が、世間からの偏見と差別で苦しんでいる。
	2404	つるい養成巴病院(釧路のロマン)	40	一般	ビデオ	ある医者が、釧路で「人間解放」「自然に帰れ」を理念とした画期的な病院を開設した。
	2405	ひとりぼっちじゃない ～自立するファウンテンハウス～	35	一般	ビデオ	ニューヨークにある精神障害者の社会復帰施設、ニューヨークファウンテンハウスの紹介
	2406	僕たちのみた青い空	24	一般	ビデオ	神奈川県内の患者会「やまゆり会の活動の様子を描いたもの
	2407	正しい知識は回復への道	14	一般	ビデオ	統合失調症は、正しい知識があれば治る病気である。
	2408	ゆっくり治療し再発を防ごう	14	一般	ビデオ	統合失調症の治療と再発を防ぐ方法。
	2409	私たちは家族 ～アメリカ家族会発展の秘密～	25	一般	ビデオ	ナミ「NAMI」(日本語で言う全家連)についての発展とその紹介
	2410	支えあうなかで ～精神障害者とその仲間たち～	35	一般	ビデオ	JHC板橋と作業所「えごのみ」の紹介。
	2411	精神障害者が受けられる税制上の 特典	11	一般	ビデオ	精神障害者には、各種税金にかかる基礎控除、非課税減免が認められている。
	2412	今ここにいきる ～精神障害者と共に～	30	一般	ビデオ	高知県における精神保健活動の紹介。
	2413	ここにおいてよ ～精神障害者を支える地域作業所～	30	一般	ビデオ	地域作業所の紹介
2414	知っておきたい薬の知識	15	一般	ビデオ	統合の治療薬についてわかりやすく説明。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
精 神 保 健	2416	サンフランシスコのハーフウェイハウス	20	一般	ビデオ	サンフランシスコで活発に活動している病院と家庭の中間にあたる施設の紹介。
	2419	全家連 30 年のあゆみ	31	一般	ビデオ	日本全家連の生い立ちから現在までの歴史。
	2420	あちこたねえ ～精神障害者の地域生活支援～	30	一般	ビデオ	新潟県のすもん村にある通所授産施設の紹介。「あちこたねえ」とはもうだいじょうぶという意味
	2430	僕たちは飛行機に乗った	41	一般	ビデオ	通所授産施設「またたびの家」のメンバーが、飛行機で沖縄旅行した記録。
	2431 ～ 2432	精神障害者ケアマネジメント 第1巻 第2巻	38 48	一般	ビデオ	精神障害者マネジメントの進め方について説明。
	2433	精神保健福祉ビデオシリーズ③精神障害者をもつ人への援助の実際	23分	一般	ビデオ	病院と患者の中間施設として諸々の施設が存在する。
	2434	精神保健福祉ビデオシリーズ④精神障害者をもつ人のケアマネジメント	21	一般	ビデオ	基本的な考え方を基に、諸々の取り組みが行われている。
	2435	精神保健福祉ビデオシリーズ⑤ノーマライゼーション	27	一般	ビデオ	精神障害者には対するノーマライゼーション社会の現実を目指す。
	2436 ～ 2437	あせらずにゆとりをもってむりしない 前編 後編	38 30	一般	ビデオ	統合失調症を中心とした精神障害の心理教育のためにつくられたビデオ。
	2438	心理 教育による精神障害者の家族支援	34	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2439	統合失調症を生きる 妄想編その1～四六時中のぞかれていた七年間～	32	一般	ビデオ	23歳で統合失調症を発症した女性の、七年間にわたる戦いを描いたもの。(べてるの家)
	2440	統合失調症を生きる 妄想編その2～ヒーローたちの戦い～	35	一般	ビデオ	20代で統合失調症を発症した男性の体験を、同じ経験を持つ仲間と語り合う様子を描いたもの。(べてるの家)
	2441	今日の精神科入院医療 ～心の病気を克服するために～	26	一般	ビデオ	18歳の大学受験生が統合失調症診断され医療保護入院となるが順調に回復し通院治療となる。精神保健福祉法と解説と一般的な治療法を紹介。
	2442	精神保健福祉ビデオシリーズ！！ 共生の時代へ第4巻ピアカウンセリング	23	一般	ビデオ	ピアカウンセリングの実際と概要。
	2443	正しく理解し回復を目指そう	20	一般	ビデオ	2407、2408、2414の改訂版
	2444	薬の作用と上手な付き合い方	20	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2445	この街で自分らしく生きる	20	一般	ビデオ	体験談を交えながら、地域で暮らしていく上で活用できる社会資源について紹介。(ベテルの家)
	2446	コートに輝く笑顔と汗	35	一般	DVD	精神障害者バレーボール全国大会の模様を紹介。
	2447	ピアカウンセリングセミナー基礎編シリーズ	284	一般	DVD	ピアカウンセリングを共に学ぶ仲間づくり。
	2448	17歳のカルテ	126	一般	ビデオ	精神科入院の17歳が自分自身を取り戻す。
	2449	第1回精神障害者就業支援中央セミナー		一般	ビデオ	精神障害者雇用について
	2450	～偏見を乗り越えて～ 癒しの揺りかご精神科医療		一般	ビデオ	精神科医療について
	2453 ～ 2456	N(ネガティブ)からP(ポジティブ)へのすすめ～東尋坊からのメッセージ～(パート1～9)		一般	DVD	人生相談を受けた時に会話した内容。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
精神保健	2457	摂食障害者の自助・ピアサポートグループ NABA 活動紹介映像 映像版「いいかげんに生きよう」	20	一般	DVD	活動内容や摂食障害を経験したメンバーのメッセージなど。
	2458	2014年 世界精神保健デー 統合失調症と共に生きる		一般	DVD	
アルコール関連	2501	アルコールの害シリーズ～酒害の予防～	26	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールに関連している。
	2502	アルコールの害シリーズ ～10代の飲酒問題～	28	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールに関連している。10代の飲酒問題は極めて深刻な社会問題となっている。
	2503	アルコールの害シリーズ ～アルコール依存者の家族～	14	一般	ビデオ	家族と入院患者が、ファミリーウィークに話し合いをする。(アメリカ)
	2504	アルコールの害シリーズ ～女性とストレス～	21	一般	ビデオ	ある薬物、アルコール依存者の女性の事情を描く。
	2505	アルコールの害シリーズ ～胎児性アルコール症候群～	10	一般	ビデオ	妊娠中の女性がアルコールを飲むと、胎児性アルコール症候群の赤ちゃんが産まれる。
	2506	アルコール依存症とは	28	一般	ビデオ	アルコール依存の症例をドキュメントタッチの再現ドラマに仕立てて解説。
	2507	アルコール依存症の心理	20	一般	ビデオ	依存症者の心理状態に迫る。
	2508	アルコール依存症 ～家族の心理～	23分	一般	ビデオ	依存症者を取り巻く家族の心理の変化・接し方について。
	2509	アルコール依存症 ～アルコール依存症から回復～	27	一般	ビデオ	スリップ(再飲酒)の兆候・その早期発見から対応まで。
	2510	アルコール依存症 ～酒なし生活術～	20	一般	ビデオ	断酒に失敗しないためのノウハウをあらゆる角度から追求。
	2511	酒とバラの日々	122	一般	ビデオ	ある若い夫婦がアルコールによって、共に墜落の人生に落ち込んで行く様子を描いた映画。
	2512	老化と飲酒	26	一般	ビデオ	老人は、適正飲酒を心がけること。
	2513	アルコールと循環器	20	一般	ビデオ	アルコールは、肝臓はもとより心臓にも多大な影響を与える。
	2514	肝臓とアルコール代謝	29	一般	ビデオ	アルコールに対する肝臓の働きを解説したものの。
	2515	あと一杯が飲めるか ～ソーシャル drinker への手引き～	43	一般	ビデオ	日頃、適正飲酒の指導などを行っている保健師さんが、飲酒によって起こる障害を予防するにはどうしたらよいかを精神科医と内科医に教示をうけた。
	2516	酒飲み上手は生き上手	16	青少年	ビデオ	若いあなたへ、上手な飲酒のアドバイス。飲酒量の単位とは何か。肝臓の処理能力は、1単位の消化に3時間必要である。妊娠中の女性の飲酒は絶対危険。
	2517	お酒と人生 ～飲み方・酔い方・楽しみ方～	17	一般	ビデオ	飲酒に関して、1単位ではほろ酔いかげん・2単位では本格的な酔い、体温が上昇、脈がはやくなる・3単位ではめいてい期、気が大きくなっておこりっぽくなる。
	2518	アルコールキッド ～今、お酒にはふれないで～	9	青少年	ビデオ	若年者が飲んだアルコールは脳細胞の破壊を進める。又、肝臓で分解されてアセトアルデヒドに酸化されるが、これを分解する酵素の働きが弱い。
	2519	未成年者とアルコール	23	未成年者	ビデオ	未成年者の飲酒とイッキ飲み障害の防止を訴える。
	2520	アルコール依存症 ～依存症の概要～	29	一般	ビデオ	酒を止められない病気である。アルコール離脱症状の出現。断酒以外に回復の道がない。
	2521	アルコール依存症～ケース事例～	35	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2522	アルコール依存症～専門職の活動～	33	一般	ビデオ	アルコール依存症者に対する相談・援助窓口について。
	2523	お年寄りとお酒の付き合い方	28	一般	ビデオ	お年寄りがお酒を飲むときの注意点について。
	2524	お年寄りとお酒の対策 ～アルコール依存症は病気です～	22	老人	ビデオ	ある老人のアルコール依存症の実例。回復の方法を教示。応神のアルコール依存症は年々増えている。
	2525	もうひとつの人生(上)	45	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2526	もうひとつの人生(下)	55	一般	ビデオ	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
ア ル コ ー ル 関 連	2528 ～ 2531	アルコール依存症への道 (1)～(4)	各 20	一般	ビデオ	予防編(女性むけ、一般飲酒むけ) 回復編(家族むけ、依存症本人むけ) に分けて、説明。
	2532	未成年者にアルコールなんかいらぬ	36	未成年者	ビデオ	最近、中、高校生の飲酒が急激に増加している。
	2533	アダルトチャイルド	32	一般	ビデオ	従来は、アルコール依存症の親のもとで育った人の ことを言ったが、今では広く機能不全家族のもとで 育った人のことを言う。
	2534	アルコール依存症 ～回復プロセスと再発予防～	40	一般	ビデオ	回復とはすなわち、再発を防止することでもある。
	2535	薬物依存 ～孤独そして絶望からの脱出～	29	一般	ビデオ	群馬県藤岡市上日野にある民間薬物依存者回復施 設「ダルク」についての紹介。
	2536	強迫的ギャンブル回復施設 ワンダーポート	6	一般	ビデオ	ギャンブル依存症者が共同生活をしながら回復を目指 す施設「ワンダーポート」の紹介。
	2537	未成年者のアルコール	26	一般	ビデオ	未成年者のアルコールについて
	2538	出所後の道しるべ ～薬物を使わない新た な人生に向かって～	62	一般	DVD	ダルクの紹介と出所後の流れについて。
	2539	ダメ。ゼッタイ。薬物乱用は脳を破壊する！	15	一般	DVD	薬物乱用防止の普及啓発。
	2540	“依存症”からの回復 第1巻 “依存症”とは何か	59	一般	DVD	依存症の正しい理解について。
	2541	“依存症”からの回復 第2巻 回復への道	67	一般	DVD	依存症からの回復のために必要な支援について。
	2542	“依存症”からの回復 第3巻 家族を支える	63	一般	DVD	家族が陥りがちな悪循環の構造を読み解き、回復へ の道を探る。
	2543	あなたの大切な人とお酒の関係 アルコール依存症の理解と対応	24	一般	DVD	アルコール依存症の理解とその対応について(保健所 等での相談対応の手法等)
2544	アルコール依存症に対する家族の効果的な 対応の仕方		一般	DVD		
心 理 ・ 面 接 技 法	2601	自立訓練法の実際	30	一般	ビデオ	心身をリラックスし、調整する、セルフコントロール法の実 際を分かりやすく解説したもの。
	2602	リラクゼーションの実際	19	一般	ビデオ	筋弛緩法(生理的な緊張を解き、心理的な安静を得ようと するもの)
	2603	続リラクゼーションの実際	17	一般	ビデオ	筋弛緩法を実行してうまくいかない人のための A-B-A 方 式の解説。
	2604	箱庭療法の基礎理論	19	一般	ビデオ	砂箱と色々なミニチュアを使って行われる心理療法を解 説。
	2605	絵画療法 [1]	20	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち 直った例を、患者の方から描いたもの。
	2606	絵画療法の理論 [2]	24	一般	ビデオ	その場で描いてもらう方法と、あらかじめ描いて持ってきて もらう方法がある。
	2607	絵画療法の症例研究 [3]	32	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち 直った例を、医師の方から描いたもの。
	2609	ケースの心をとらえる面接！	23	一般	ビデオ	どのような方法で面接を行えばよいかを教示している。
	2610	ケースの心をとらえる面接！！	27	一般	ビデオ	就職を目前にした大学生に対するカウンセリングの仕方を教 示している。
2611	ロールシャッハテスト	30	一般	ビデオ	インクのしみで出来たカードを被検者に見せ、それぞれの カードに示される様々な反応を記録、検討して被検者の 性格や人格像を見極める。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
心理・面接技法	2612	心理療法としての箱庭と子供への適応の方法	51	一般	ビデオ	カルフ婦人が、子供が勉強で離れた心を癒すために、箱庭療法を行いに来る。
	2613	フェイス トウ フェイス 1巻 ～マイクロカウセリング	24	一般	ビデオ	他人とうまく付き合っていくための技法を、マイクロトレーニングという方法で教示する。
	2614	フェイス トウ フェイス 2巻 ～積極技法ほか～	26	一般	ビデオ	いいかえと要約、感情の反映、フィードバック、積極技法。
	2615	フェイス トウ フェイス 3巻 ～技法の統合ほか～	29	一般	ビデオ	焦点のあて方、主張、不一致と複雑なメッセージ、技法の統合。
	2616	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ①モジュールの構成	24	一般	ビデオ	アメリカの精神科医師が、精神障害者の自立生活技能モジュールを開発した。
	2617	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ②導入とビデオを用いた質疑応答	20	一般	ビデオ	導入・・・技能領域の学習への適切な導入のやり方を教示。ビデオを用いた質疑応答・・・ビデオを用いりながら、適切に質疑応答を行う方法を教示。
	2618	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ③ロールプレイ	46	一般	ビデオ	ロールプレイの適切なやり方を教示。
	2619	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ④実地練習ほか	56	一般	ビデオ	日常生活の中で、実際にやること。
	2620	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ①服薬自己管理モジュール	63	一般	ビデオ	抗精神病薬について知る、正確な自己服薬と評価の仕方を知る。薬の副作用を見分ける。
	2621	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ②基本会話モジュール	42	一般	ビデオ	コミュニケーションの言語的要素と非言語的要素。
	2622	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ③病状自己管理モジュール	51	一般	ビデオ	再発の注意サインを見つける、持続症状の対処方法を学ぶ。
	2623	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ④余暇の過ごし方モジュール	23分	一般	ビデオ	レクリエーションの効果を明確にする。(ジョギング、水泳、バレーボール、映画、動物保護施設でボランティアなど)
	2624	パニックディスオーダー 6人の患者	9	一般	ビデオ	次のようなパニック障害がおきる人がいる。(突然の発症、呼吸困難、窒息感、めまい、吐き気、嘔吐など)
	2626	行動療法的家族指導(BFM) ～治療技法の実際編～	53	一般	ビデオ	BFMは精神病患者とその家族が、生活上のストレスを減らすため、自分たちの対処技能を効果的に使えるように導くものです。
	2627	こころを育むストレスマネジメント技法	40	小・中・高・一	ビデオ	ストレスマネジメント教育で気持ちの切り替えがうまくなる。ストレスに強くなる。
	2628	学校におけるストレスマネジメント教育	34	一般	ビデオ	学校におけるストレスマネジメント教育の可能性について探る。
	2629	生きる力を創る ～SSTの倫理と実際～	47	一般	ビデオ	SSTとは認知行動療法。(指導者が学習促進を援助する)
	2631	面接への招待 ①	59	一般	ビデオ	電話によってインテークと訪問による面接を通して、相談援助面接の一つの事例を紹介。あらゆる領域で働く対人援助職者が、応用可能である。
	2632	面接への招待 ②	60	一般	ビデオ	核心をはずさない相談援助面接の技法を紹介する。
2633	ひきこもり完全脱出マニュアル 第1講 初級入門編 こうすれば子どもと対話ができる。	60	一般	ビデオ	ひきこもりに対応するには、親と子の意思疎通が重要である。対等の関係を保つ。	



分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
心 理 ・ 面 接 技 法	2634	ひきこもり完全脱出マニュアル 第2講 ケーススタディ編 不登校とひきこもり	60	一般	ビデオ	ドラマ仕立てで事例を再現し、不登校状態をひきこもり状態へと深刻化させず、脱却させるための、家族、教師の心構えを解説。
	2635	ひきこもり完全脱出マニュアル 第3講 思春期対応編 精神的症状とひきこもり	45	一般	DVD	強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもちこみながら斉藤環氏が解説。
	2636	ひきこもり ① ひきこもりに対する正しい理解	7	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2637	ひきこもり ② 支援の実践にあたって	43	一般	DVD	
	2638	ひきこもり ③ 検証・支援現場～民間編～	39	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2639	ひきこもり ④ 検証・支援現場～公的機関編～	35	一般	DVD	
	2640	実録・家族療法1巻 「心理教育アプローチ」に基づく家族面接	61	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2641	実録・家族療法2巻 「力動的療法」に基づく家族面接	68	一般	DVD	
	2642	実録・家族療法3巻 「システムアプローチ」に基づく	87	一般	DVD	
	2643	実録・家族療法 オリエンテーション編		一般	DVD	
2644	認知行動療法 ベテる式	95	一般	DVD	ベテるの家の幅広い活動を(認知行動療法)という視点から切り取って紹介。	